

令和4年度

事業報告



社会福祉法人 秋田県社会福祉協議会

目 次

1	全体総括	1
2	基本方針ごとの総括	3
3	事業内容	
	基本方針1 地域共生の仕組みづくり	
	―地域福祉トータルケアの推進―	9
	推進項目1 総合相談支援体制の構築	9
	推進項目2 地域づくり活動基盤の整備	31
	推進項目3 地域における公益活動の推進	40
	推進項目4 行政と社協のパートナーシップの強化	41
	推進項目5 災害支援体制づくりの推進	42
	基本方針2 福祉サービスの基盤づくり	
	―働きやすくやりがいを感じられる福祉の職場づくりの推進―	47
	推進項目1 福祉人材の確保・育成・定着の推進	47
	推進項目2 福祉サービスの質の向上と社会福祉経営基盤の強化	61
	基本方針3 組織・経営基盤の強化	73
	推進項目1 法人経営の基盤強化と財源の確保	73
	推進項目2 職員の資質向上と意識改革	78
	その他 災害時における被災地社協への支援	79
	令和4年8月3日からの大雨に伴う災害支援実施状況	79

令和4年度 事業報告

1 全体総括

令和4年度は、新型コロナウイルス感染防止と社会経済活動の両立が必要とされる状況を踏まえつつ、国・県からの要請に基づき、新型コロナウイルス感染症の拡大による生活困窮世帯や感染者が発生した高齢者施設等への支援を行うとともに、本会に求められる役割・機能の発揮に努めました。

第一に、新型コロナウイルス感染症の影響で収入が減少し生活に困窮している人への「生活福祉資金の特例貸付」は、令和4年9月末で申請受付期間が終了しましたが、令和2年3月の開始以降の貸付実績は、緊急小口資金と総合支援資金（延長貸付の件数を含む）を合わせ、4,063件・10億5,472万円となっています。本年1月から償還が始まったことから、償還猶予や償還免除等への手続きへの迅速な対応及び償還に関する相談対応のため職員体制を増強し、市町村社会福祉協議会と連携して借入者のフォローアップ支援のための体制整備を図りました。

第二に、新型コロナウイルス感染症の患者が発生した施設・事業所単体での対応が困難な場合に、他の施設等から応援職員を派遣し、施設等のサービス提供を継続することを目的とした「秋田県緊急時介護・障害福祉人材応援派遣に係るコーディネート事業」は、派遣要請があった6施設・事業所に延べ64名の派遣調整を行いました。3月末現在、派遣可能な職員として118法人・203施設から523名の登録があり、今後の要請に備えています。

こうした状況下にあって、本会の地域福祉活動計画の基本理念「ともにつながり 支え合う めくもりと笑顔あふれる 幸せのまちづくり」を実現するため、県をはじめ、市町村社会福祉協議会、福祉関係機関・団体等の幅広い関係者と連携・協働しながら、3点の基本方針（「地域共生の仕組みづくり」、「福祉サービスの基盤づくり」、「組織・経営基盤の強化」）に沿って各種事業を実施し、県内の地域福祉の推進を図りました。

基本方針の1点目である「地域共生の仕組みづくり」に向けては、少子高齢化の進行などを背景に進む地域の支え合い機能の低下や地域における生活課題の複雑・多様化といった状況を踏まえ、総合相談支援体制や地域福祉の推進を担う人材の確保・育成、地域づくり活動の基盤整備の支援、災害発生時の支援体制づくりなどに取り組みしました。

また、子どもの貧困問題に取り組む団体等のネットワーク構築を推進し、Webサイトを活用して関係者間の情報共有を図るとともに、活動状況等について県民への周知を図りました。このほか、高齢者の生きがい・健康づくりの推進に向けて、県版ねんりんピック等によるスポーツ・文化活動の振興に努めるとともに、地域包括ケアシステムの構築を推進するため、市町村や地域包括支援センター等の関係者を対象にした研修、専門職派遣による自立支援型地域ケア会議の運営支援等を行いました。

基本方針の2点目である「福祉サービスの基盤づくり」については、福祉・介護分野における人材確保が喫緊の課題であるとの認識のもと、当面の人材確保に向けた多様な人材の参入促進や職場定着の促進の取組と併せ、中長期的な視点に基づき福祉分野への若年層の関心を高めるための取組を進めました。更に、福祉サービスの質を高めるため、福祉従事者研修の充実を図るととも

に、運営適正化委員会による苦情解決、福祉サービス第三者評価の実施、介護サービスの情報公表制度の適切な運営に努めました。

基本方針の3点目である「組織・経営基盤の強化」の関連では、社会福祉法をはじめとする関連法令に即した法人運営を進めるとともに、会員の拡大、自主財源の確保に努めたほか、秋田県社会福祉会館の指定管理者として、適正な管理運営と会館の利用促進に努めました。

令和5年度は6年間の秋田県地域福祉活動計画の最終年に当たることから、3点の基本方針に沿ってこれまでの取組をさらに進め、計画で掲げた目標の実現を図ります。併せて、これまでの実績を検証しながら次期計画の策定に取り組みます。こうしたことを通じて、本会の役割・機能の一層の充実と関係機関・団体との連携強化を図り、地域福祉の推進に努めます。

2. 基本方針ごとの総括

《基本方針1》 地域共生の仕組みづくり－地域福祉トータルケアの推進－

○ 「重層的支援体制整備事業」がスタートし、各自治体には地域共生社会の実現に向けて包括的な支援体制を構築することや住民参加による地域づくりが求められています。そのため、令和3年度にまとめた「小地域ネットワーク活動検討委員会報告書」の提言を踏まえ市町村社協を中心とした活動の展開を推進するとともに、「地域で気になる人」と地域住民等の関係を「見える化」し地域の福祉課題を把握する手段となる「支え合いマップ」づくりの実践を進めるため、指導者となるインストラクターの養成に取り組む「地域の福祉力向上事業」を、新たに実施しました。

○ 地域福祉を推進する人材を育成するため、コミュニティソーシャルワーク実践者養成研修を2回（基礎編・応用編）実施し、修了者は令和4年度末までの累計で460名となりました。スキルアップ研修では、アウトリーチや社会資源の開発等の取組事例を共有し、コミュニティソーシャルワーク実践力の強化を図りました。

地域の多様な生活課題や制度の狭間の問題に対し個別支援と地域支援を通じて課題解決を図る専門職が必要とされていることから、今後もコミュニティソーシャルワークの必要性を広く周知するとともに、実践者の養成を継続していきます。

○ 判断能力が十分でない認知症高齢者や知的障害者などが地域で自立した生活を送れるよう福祉サービスの利用や日常的な金銭管理を支援する日常生活自立支援事業の実利用件数は558件（前年度より14件増）と過去最高の実績となっており、増加する利用ニーズに対応した市町村社協の組織体制強化が課題となっています。

「権利擁護支援の体制構築モデル事業」では、大仙市社協と仙北市社協を指定し、弁護士、司法書士等による推進委員会や現地指導を通じて、地元行政とともに令和5年度からの権利擁護センターの設置や中核機関の設置に向けた検討を行いました。

また、県から受託した「成年後見制度利用促進事業」では、成年後見制度の相談支援に当たる関係者が意思決定支援の考え方を理解するための研修や、法人後見による担い手の確保に向けた研修を新たに実施したほか、日常生活自立支援事業から成年後見制度へ適正に移行するための基準等について検討しました。

○ 低所得世帯等の生活基盤を支える制度の一つである「生活福祉資金貸付事業」のコロナ特例貸付を除く貸付件数は、総合・福祉・教育の3資金合わせて175件となりました。

償還計画額に対する償還実績額の割合を示す償還率は、全体で10.44%と前年度より1.32ポイント低下したことから、市町村社協をはじめとする関係機関との連携により償還に向けた取組を強化します。

新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少した世帯の資金需要に対応するため実施された特例貸付について、緊急小口資金は313件の申請に対し前年度の未決分（18件）を含む301

件、総合支援資金（生活支援費）は162件の申請に対し前年度の未決分（9件）を含む154件の貸付を決定しました。なお、特例貸付は令和4年9月末で受付を終了しており、償還猶予及び償還免除の申請を受け付け、年度末までに92件の償還猶予及び1,486件（3億7,500万円余）の償還免除を決定しました。また、本年1月から償還が始まったことから、市町村社会福祉協議会と連携して借入者の生活実態の把握等を含めたフォローアップ支援の強化に努めます。

- 子ども食堂などに取り組む支援団体等の活動を応援する「あきた子ども応援ネットワーク」の活動を充実させるため、昨年度に開設したWEBサイトの機能拡充を図り、個人や企業等からの食材提供や寄附等の受付、ボランティアの申し込み受付などをフォーム化し、支援団体等の活動を支える取組を促進しました。

「ひとり親家庭高等職業訓練促進資金」及び「児童養護施設退所者等に対する自立支援資金」は、新規利用実績が全体で6件と少ない状況にあります。自立した生活を目指す人にとっては重要な制度であることから、引き続き関係機関等を通じた制度周知を図り、社会的な支援が必要な人の利用に結び付くよう取り組みます。

- 高齢者総合相談・生活支援センターでは、高齢者やその家族等が抱える心配ごとや悩みごとの相談、権利擁護相談など1,770件に対応したほか、県民介護講座（177名受講）や福祉用具等に関する研修（95名受講）を実施し、県民の介護に関する知識と技術の習得を支援しました。

また、「新しい総合事業の取組支援事業」や「介護施設等看護実務者研修」、「訪問介護員の人材養成基本研修」を、コロナ感染症拡大防止のためオンライン併用のハイブリッド形式により実施しました。

さらに、地域包括ケアシステムの構築に向けて、能代市、三種町へ専門職や自立支援介護予防普及アドバイザーを派遣し、自立支援型地域ケア会議の普及に向けた取組を促しました。

- 高齢者の生きがい・健康づくりの推進について、第34回全国健康福祉祭神奈川・横浜・川崎・相模原大会が3年ぶりに開催され、本県から153名の選手団を派遣しました。また、県版ねりんピックは、中止した種目があったものの18種目を開催し、1,715名が参加したほか、「ねりん美術展」を開催し、スポーツや文化活動への継続的な取組を通じた社会参加の促進を図りました。

また、高齢者の健康寿命の延伸を図ることと高齢者の交流の場を提供することを目的に、「ロングライフ講座」を県内9か所（秋田市、能代市、横手市、大館市、湯沢市、由利本荘市、潟上市、大仙市、北秋田市）で各2回開催し、延べ352名の参加がありました。

更に、地域の課題解決や地域活性化に向けて高齢者が活躍できる機会を創出・拡大することを目的として、活動の中核となる人材の発掘・養成や活躍の場づくりに取り組む7団体に対して助成を行い、高齢者が中心となって住民同士のつながりを広げる地域づくり活動を促進しました。

- 地域福祉推進委員会では、本県を取り巻く地域の福祉課題に関する各種別協議会や関係福祉団体からの問題提起を踏まえ、その課題解決に向けて県及び市町村に政策要望を行うとともに、県健康福祉部担当課長等との意見交換の場を設け、課題と解決策について認識の共有を図りました。

- コロナ禍における福祉教育の推進を目的として「福祉教育推進セミナー」を開催し、担い手の育成を図りました。

また、災害支援体制づくりのため、災害ボランティアコーディネーターの養成研修及びフォローアップ研修を通じて人材養成を図り、令和4年度末までの累計で493名を養成しました。

更に、災害ボランティアセンターの運営に協力する住民ボランティアの養成を目的とした「災害ボランティア活動実践研修会」を2か所で開催し、仙北市25名、東成瀬村17名の参加がありました。行政と社協合同で実施する「災害ボランティア実地訓練」は横手市で20名の参加がありました。
- 令和4年8月の大雨被害により3市町で災害ボランティアセンターが設置され、被災者支援と復旧作業に大きな役割を果たした一方で、コロナ禍におけるボランティアの確保など課題も明らかになりました。このためトータルケア推進会議を「災害に強い」地域づくりに向けて自治体・社協等関係者が担うべき役割や必要な体制づくりについて考える機会としました。
- 大規模災害が発生した際に被災地からの要請に応じて派遣する災害派遣福祉チームのチーム員養成に向けた研修を実施し、新たに15名をチーム員として登録（令和4年度末までの累計で125名）し、災害時の派遣に備えました。

《基本方針2》 福祉サービスの基盤づくり

－働きやすくやりがいの感じられる福祉の職場づくりの推進－

- 福祉・介護を支える多様な人材を確保するため、厚生労働大臣の許可による無料職業紹介事業として運営する「福祉保健人材センター」において福祉・介護の業務に従事するための相談、求人・求職登録、求職者紹介及び資格取得方法に関する情報提供などを行うとともに、関係機関・団体の主催する人材確保関連イベントに積極的に参画し、福祉人材の確保とマッチングに努めました。

「ふくしのしごと総合フェア」は、福祉業界への就職を希望する学生や求職者と福祉事業所の担当者が直接面談できる貴重な機会として2回開催しました。
- 「介護人材確保対策事業」では、専門アドバイザー（社会保険労務士・中小企業診断士）や理学療法士を17事業所に派遣したほか、採用力の向上を目的としたセミナーや「エルダー・メンター制度」導入に向けたセミナーを開催するなど、福祉・介護事業所を対象とする各種支援事業を通じ、福祉・介護人材の確保支援と職場定着の促進に継続して取り組みました。
- 中長期的な視野に立った人材確保策として、「介護の職場体験事業」を引き続き行うとともに、小冊子「介護の仕事ハンドブック」を作成し県内の高校1年生へ配布したほか、中学校の生徒やその保護者、教職員を対象に福祉の仕事の魅力を分かりやすく伝えるセミナーを開催するなど、福

祉・介護の仕事に対する若年層の理解促進及び参入促進を図りました。

また、就職や進学で福祉分野に関心のある高校生等が福祉の仕事の現状を学ぶ「高校生福祉の進路ガイダンス」を、一部オンライン方式を採用しながら、県央・県南2か所で開催しました。

- 介護の仕事に興味を持つ人や就労意欲のある中高年世代、退職者、主婦層、学生などを対象に、「介護の入門的研修事業」を実施し、介護の入門的研修への参加と介護現場での職場体験を通じ、新規就労・再就労を支援しました。

- 介護福祉士養成校やハローワーク、福祉・介護事業所等の協力のもと、介護福祉士修学資金等貸付事業（介護福祉士等修学資金、介護福祉士実務者研修受講資金、離職介護人材再就職準備金の貸付）と福祉系高校修学資金等貸付事業（福祉系高校修学資金、介護分野就職支援金、障害福祉分野就職支援金の貸付）を実施し、福祉・介護人材の確保や再就労支援等に努めました。このほか、県内外の保育士養成施設に在学する学生を対象に保育士修学資金貸付事業を実施し、保育士資格の新規取得の促進と県内の保育士の確保に努めました。

- 秋田県から受託している福祉保健研修事業では、経験年数に基づく階層別研修や職域研修など、全17コース（25回延べ開催日数45日）の研修を実施し、福祉保健従事者に求められる資質や専門性の向上、相談・援助等の専門職として必要な知識・技術の習得を図りました。

受講定員1,545名に対し、受講実人数は1,000名と定員を下回る結果となりましたが、定員を上回る受講申込みがあった研修では、定員枠を拡大し、受講者の受入れに努めており、研修内容の充実と研修の周知を図ります。

自主企画研修事業では、要望の多い認知症介護に関する研修を実施したほか、怒りのマネジメント研修やタイムマネジメント研修を実施するなど、その充実を努めましたが、受講定員1,610名に対し、受講実人数は1,519名で定員数を下回りました。各種別協議会を通じて、事業者や受講者の研修ニーズの把握に努めるとともに、他研修機関の研修内容を参考に自主企画研修を充実させる必要があります。

介護職員等によるたんの吸引等研修事業では、特別養護老人ホーム等の施設及び居宅において、安全にたんの吸引等を行うことができるよう研修を実施しました。受講定員256名に対し、受講人数は156名でした。

介護支援専門員養成事業では、介護支援専門員の確保及び養成のため、実務研修受講試験を実施するとともに実務研修を行いました。研修の受講者数は95名で、受講修了数は94名でした。

各研修の実施に当たっては、新型コロナウイルス感染予防や受講者の利便性向上のため、研修の内容に応じて集合型研修のほか、オンライン研修と集合型研修の併用で実施しました。

- 福祉サービス利用者、家族等から来所・電話・FAX・メール等で「秋田県運営適正化委員会」に寄せられた苦情件数は19件（前年度21件）であり、助言や他機関の紹介のほか、必要に応じて事情を調査し、その解決を図りました。また、各種相談や問合わせが22件（前年度17件）あり、どこに相談していいのか分からない人の悩みに寄り添うとともに、必要に応じ、関係機関に繋

げました。

苦情解決事業では、引き続き利用者や家族等が苦情申し出を行いやすい環境づくりに努めるとともに、日常生活自立支援事業の運営監視についても事業の適切な運営を確保するため、第三者機関として機能の発揮に努めていく必要があります。

- 介護サービス情報の公表事業では、事業所から報告された介護サービス情報を訪問調査等により確認し、1,980件の事業所情報の公表を行い、利用者の事業所選択の参考とするとともに、介護サービスの質の向上を図りました。

- 社会福祉施設経営指導事業では、社会福祉法人や事業所の経営に関する一般相談・専門相談を通じ、46件（前年度80件）の相談に対応しました。非常勤相談員による専門相談が17件、常勤相談員による一般相談が29件となっており、主な相談は、労使問題に関するものが12件、会計事務に関するものが11件、施設経営に関するものが7件などとなっています。

相談は社会福祉法人に偏っていることから、県と連携しながら社会福祉法人以外の福祉施設経営者に対して事業の周知を図る必要があります。

また、社会福祉法人の責務として位置づけられた「地域における公益的な取組」については、秋田県社会福祉法人経営者協議会との連携・協働による事業展開を進めるとともに、市町村社協に対して施設経営法人との連携による実施を働きかけました。

《基本方針3》 組織・経営基盤の強化

- 理事会を3回、評議員会を3回、監事会を2回、評議員選任・解任委員会を2回、正副会長会議を4回開催し、法人の適切な運営に努めました。
- 社会福祉法人が運営する事業所に限らず多くの事業所の加入促進に努め、一般会員12か所を新たに会員として迎え入れることができました。会員に対しては、広報「社会福祉あきた」やメールマガジンによる情報提供のほか、本会の自主企画研修の受講料や第三者評価の受審料の割引を行い、会員サービスの充実に努めました。
- 自主財源の確保に向け、火災共済、自動車共済やがん保険の加入促進、自動車リースの促進、常備薬の斡旋などを行いました。自動車共済の契約件数及び常備薬の斡旋手数料は前年度を下回ったものの、それ以外は前年度を上回る実績になりました。厚生事業は、本会の自主財源の重要な柱になっていることから、引き続き会員の理解と協力により財源の確保に努めます。
- 秋田県社会福社会館の管理・運営については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、5月中旬まで高校生以下の体育館の利用制限を行った影響がありましたが、制限解除後は利用が伸び、利用料収入は当初予算に対し約190万円の増収となりました。その一方で、電気料金等の高騰に伴い、県から「原油価格高騰等の影響に伴う指定管理者支援事業費補助金」の交付を受けたも

の、令和4年度は支出額が収入額を上回りました。今後も厳しい運営状況が続くことが予想され、利用料収入の増と経費削減に取り組んでいきます。

また、会館については、県の公共施設等総合管理計画に基づき、心身障害者総合福祉センターエレベーター交換工事（県発注）が行われたほか、県と協議しながら必要な修繕を実施しました。

- 「職員業務目標評価、能力評価実施要領」に基づき業務目標評価及び能力評価を行い、職員のヒアリング等を通じて意識改革や業務改善が進むよう努めました。また、職種や経験年数等に合わせ、研修センター主催の研修に1名の職員を参加させたほか、県や県共同募金会への職員派遣、県からの職員1名の受入れを通じ、組織の活性化と職員の資質向上を図りました。

3 事業内容

《基本方針1 地域共生の仕組みづくりー地域福祉トータルケアの推進ー》

推進項目1 総合相談支援体制の構築

＜事業項目1 地域福祉推進体制の構築と取組み強化＞

1 トータルケア推進会議【共同募金助成事業】

期 日 令和4年12月15日(木)

会 場 ホテルメトロポリタン秋田(オンライン併用)

参加者 37名(会場11名、オンライン26名)

内 容 基調説明「災害ボランティアセンターの活動状況と取り巻く動向について」

全国社会福祉協議会地域福祉部 全国ボランティア・市民活動振興センター
副部長 楠聖伸 氏

活動報告「災害ボランティアセンターの設置・運営について」

大館市社会福祉協議会 地域福祉課 地域福祉活動専門員 小野浩 氏

鹿角市社会福祉協議会 地域福祉課 地域福祉総合支援係長 工藤慈子 氏

五城目町社会福祉協議会 事務局長 加藤雄一 氏

秋田県社会福祉協議会 地域福祉・生きがい振興部職員

総括講義「災害ボランティアセンターのあり方とは」

講師 一般社団法人ピースボート災害支援センター

防災減災教育プログラムコーディネーター 垣貫紀彦 氏

2 トータルケアニュースの発行

No.72 「地域支え合いの仕組みづくりモデル事業」の取組

(能代市東雲地区、湯沢市稲川地区)

3 市町村社協の支援

(1) 個別支援の実施【共同募金助成事業】

実施延回数 96回

(2) 市町村社協状況調査の実施

市町村社協の事業活動等の現状を基礎データとして把握・整備し、支援につなげた。

(3) 市町村社会福祉協議会連絡協議会の支援

① 総会

第1回 日 時 令和4年8月29日(月)

会 場 オンライン

参加者 19名

第2回 臨時総会(書面審議)

日 時 令和5年2月

内 容 県社協の理事及び評議員の退任による、後任推薦の審議

②監事会

日 時 令和 4 年 5 月 30 日 (月)

会 場 秋田県社会福祉会館

③正副会長会議

日 時 令和 4 年 5 月 30 日 (月)

会 場 秋田県社会福祉会館

④企画委員会

日 時 令和 4 年 5 月 16 日 (月)

会 場 オンライン

参加者 6 名

⑤会長会議

日 時 令和 4 年 12 月 14 日 (水)

会 場 アキタパークホテル

⑥新任職員研修会

日 時 令和 5 年 3 月 16 日 (木)

会 場 アキタパークホテル

参加者 21 名

(4)地域福祉担当情報交換会の実施 (オンライン情報交換会)

第 1 回 日 時 令和 4 年 6 月 1 日 (水)

内 容 各社協の重点的な事業や新たな取組について情報交換

第 2 回 日 時 令和 4 年 9 月 27 日 (火)

内 容 市町村ボランティアセンターの取組状況及び災害ボランティアセンターの実施状況について情報交換

第 3 回 日 時 令和 4 年 12 月 27 日 (火)

内 容 地域福祉担当職員の人材確保・教育の取組状況及び業務効率化について情報交換

(5)市町村社会福祉協議会事務局長等会議

(市町村社会福祉協議会会長・事務局合同会議)

期 日 令和 5 年 2 月 27 日 (月)

会 場 オンライン

参加者 37 名 (市町村社協 29 名、県社協 8 名)

内 容 基調説明 秋田県社会福祉協議会 事務局長

説明「令和 5 年度秋田県社会福祉協議会の重点事業 (案) について」

秋田県社会福祉協議会 各部部长

行政説明「福祉人材キャリア支援専門員について」

秋田県健康福祉部地域・家庭福祉課 副主幹 内藤麻衣子 氏
情報交換

<事業項目2 地域福祉推進を担う人材の育成>

1 コミュニティソーシャルワーク実践者の育成に向けた研修【共同募金助成事業】

(1) コミュニティソーシャルワーク実践者養成研修（基礎編）

期 日 令和4年6月23日（木）～24日（金）

会 場 秋田市民交流プラザ

参加者 45名

内 容 講義1「新たな社会福祉のシステムとコミュニティソーシャルワークの機能」
講義2「コミュニティソーシャルワークのプロセスと技法」
講義3「コミュニティソーシャルワーク実践の具体的理解」
演習1「コミュニティソーシャルワークの視点による個別アセスメント」
演習2「コミュニティソーシャルワークの視点による地域アセスメント」
講義4「コミュニティソーシャルワークにおけるチームアプローチ」
演習3「コミュニティソーシャルワーク実践のプランニング」

講 師 特定非営利活動法人日本地域福祉研究所 副理事長 小野敏明 氏

(2) コミュニティソーシャルワーク実践者養成研修（応用編）

期 日 令和4年10月3日（月）～4日（火）

会 場 秋田市民交流プラザ

参加者 45名

内 容 グループ協議「実践の振り返り」
演習1「多様なネットワークによるチームアプローチの実践」
演習2「ネットワーク会議の開催」
講義 「コミュニティソーシャルワークと地域づくり」
演習3「地域住民の参加を促す地域づくり」

講 師 特定非営利活動法人日本地域福祉研究所 副理事長 小野敏明 氏

(3) コミュニティソーシャルワーク実践者スキルアップ研修

期 日 令和5年3月10日（金）

会 場 秋田県JAビル

参加者 25名

内 容 実践発表1「コミュニティソーシャルワーカーによるアウトリーチ」
三種町社会福祉協議会

コミュニティソーシャルワーカー 小野真美 氏

実践発表2「社協と多職種連携による取組」

湯沢市社会福祉協議会地域福祉課 主査 後藤久司 氏

実践発表3「社会資源の開発に向けた取組」

横手市社会福祉協議会地域福祉課 副主査 福岡真貴子 氏

グループワーク「コミュニティソーシャルワーク機能の実践強化に向けて」

総括講義「コミュニティソーシャルワーク機能と職員の資質向上」

講 師 日本福祉大学社会福祉学部社会福祉学科 教授 川島ゆり子 氏

2 コミュニティソーシャルワーク実践者の交流促進

(1) 「27 回地域福祉実践研究セミナーin愛媛・いまばり」への参加

期 日 令和 4 年 8 月 25 日 (木)

会 場 オンライン

参加者 1 名 (地域福祉・生活相談支援担当)

(2) 「第 4 回地域共生社会推進全国サミットinつるが」への参加

期 日 令和 4 年 11 月 17 日 (木) ~18 日 (金)

会 場 福井県敦賀市プラザ萬象

参加者 1 名 (地域福祉・生活相談支援担当)

3 コミュニティソーシャルワーク実践研究会への支援

(1) 総会の開催

期 日 令和 4 年 9 月 13 日 (火)

会 場 オンライン

参加者 11 名

(2) 監事会の開催

期 日 令和 4 年 7 月 22 日 (金)

会 場 秋田県社会福祉会館

(3) 運営幹事会の開催

第 1 回 期 日 令和 4 年 6 月 20 日 (月)

会 場 オンライン

第 2 回 期 日 令和 4 年 11 月 1 日 (火)

会 場 オンライン

(4) 全体研修の開催

第 1 回 期 日 令和 4 年 9 月 13 日 (火)

会 場 オンライン

参加者 18 名

内 容 講義「総合相談・生活支援を担う社協の総合力強化に向けて」

講 師 日本福祉大学社会福祉学部 教授 川島ゆり子 氏

第 2 回 期 日 令和 4 年 11 月 29 日 (火)

会 場 秋田市民交流プラザ

参加者 13 名

内 容 講義・グループワーク「個別支援から地域支援への展開」

講 師 日本福祉大学社会福祉学部 教授 川島ゆり子 氏

4 生活支援コーディネーターの活動支援

(1) 生活支援コーディネーター活動支援研修会

期 日 基礎編 令和 4 年 6 月 30 日 (木)

応用編 令和 4 年 11 月 25 日 (金)
 会 場 基礎編 オンライン開催
 応用編 秋田県社会福祉会館 (オンライン併用)
 参加者 基礎編 43 名
 応用編 32 名 (会場 13 名、オンライン 19 名)
 内 容 基礎編 講義「生活支援体制整備事業における生活支援コーディネーターの
 役割」
 演習「基礎編のまとめ」
 応用編 講義「地域包括ケアシステムは互助の強化」
 演習「応用編のまとめ」
 講 師 東海大学建築都市学部 特任准教授
 東京大学高齢社会総合研究機構 客員研究員 後藤純 氏

(2)生活支援コーディネーター活動支援研修会～視察編～

期 日 第 1 回 令和 4 年 10 月 31 日 (月)
 第 2 回 令和 4 年 11 月 2 日 (水)
 第 3 回 令和 4 年 11 月 28 日 (月)
 会 場 オンライン開催
 参加者 第 1 回 令和 4 年 10 月 31 日 (月) 23 名
 第 2 回 令和 4 年 11 月 2 日 (水) 29 名
 第 3 回 令和 4 年 11 月 28 日 (月) 26 名
 内 容 第 1 回 「人と企業をつなぎ、高齢社会を明るく、元気に」
 プレゼンター 株式会社 ALL-A 渡邊文人 氏
 「市民活動」
 プレゼンター おもしろどかだればあ
 代表 菅原のぞみ 氏
 第 2 回 「移送支援 (横手市)」
 プレゼンター 株式会社マルシメ ゲストリレーション部
 部長 地域連携推進担当 柴田一幸 氏
 「ショッピングリハビリ (通所A)」
 プレゼンター 有限会社ヘルシーアップル
 ひかりサロンラッキー 武藤由貴 氏
 第 3 回 「地域のお店 (住民主体)」
 プレゼンター 大館市山田地区の Store たんひ・カフェあつ
 こ 代表 赤坂実 氏
 「移送支援 (訪問型サービスD)」
 プレゼンター NPO法人おおだて福祉ネット
 理事長 藤田三壽 氏
 演習・情報交換会

講 師 東海大学建築都市学部 特任准教授
東京大学高齢社会総合研究機構 客員研究員 後藤純 氏

<事業項目 3 権利擁護体制の充実>

1 日常生活自立支援事業

(1) 契約締結審査会

期 日 12 回開催（毎月 1 回）

会 場 秋田県社会福祉会館

内 容 契約締結申請ケースの審査

(2) 市町村福祉生活サポートセンターの機能強化及び専門員・生活支援員の資質向上

① 専門員連絡会議

期 日 12 回開催（毎月 1 回）

会 場 秋田県社会福祉会館

内 容 連絡調整、申請ケースについて質疑応答

② 専門員研修会

期 日 令和 4 年 5 月 27 日（金）

会 場 オンライン

参加者 14 名

内 容 事務手続きについて、専門員実践報告

③ 専門員実践力強化研修会（全国社会福祉協議会主催）への参加経費助成

専門員実践力強化研修会Ⅰ（オンデマンド配信）

配信期間 令和 4 年 9 月上旬～11 月末

参加者 4 名（新任専門員等）

主な内容 講義「日常生活自立支援事業が地域で果たす役割と専門員への期待」他

専門員実践力強化研修会Ⅱ（オンライン）

期 日 令和 5 年 2 月 9 日（木）～2 月 10 日（金）

参加者 2 名（専門員としての業務経験が満 2 年以上の職員）

内 容 事例検討

④ 生活支援員研修会

県南地区 期 日 令和 4 年 9 月 5 日（月）

会 場 オンライン

参加者 生活支援員 28 名、社協職員 16 名

内 容 説明「事業の流れ及び事務手続き等について」

秋田県社会福祉協議会 地域福祉・生きがい振興部職員
実践発表

湯沢市福祉生活サポートセンター

生活支援員 遠田洋子 氏

講座「高齢期に見られる精神症状について」

横手興生病院 精神保健福祉士 鎌田博実 氏

県央地区 期 日 令和 4 年 9 月 6 日 (火)

会 場 オンライン

参加者 生活支援員 24 名、社協職員 9 名

内 容 説明「事業の流れ及び事務手続き等について」

秋田県社会福祉協議会 地域福祉・生きがい振興部職員
実践発表

五城目町福祉生活サポートセンター

生活支援員 小玉洋子 氏

講座「高齢期に見られる精神症状について」

グループホーム久盛会 精神保健福祉士 後藤慶 氏

県北地区 期 日 令和 4 年 9 月 8 日 (木)

会 場 オンライン

参加者 生活支援員 25 名、社協職員 6 名

内 容 説明「事業の流れ及び事務手続き等について」

秋田県社会福祉協議会 地域福祉・生きがい振興部職員
実践発表

鹿角市福祉生活サポートセンター

生活支援員 黒澤信子 氏

講座「高齢期に見られる精神症状について」

相談室 ReFrame 精神保健福祉士 平川聖子 氏

(3) 日常的金融管理サービス実施状況調査及び事務取扱状況調査

調査回数 33 回

市 町 村	第 1 回調査日	第 2 回調査日
秋 田 市	令和 4 年 7 月 8 日 (金)	令和 4 年 12 月 5 日 (月)
能 代 市	令和 4 年 7 月 21 日 (木)	令和 4 年 11 月 1 日 (火)
横 手 市	令和 4 年 6 月 28 日 (火)	令和 4 年 12 月 9 日 (金)
大 館 市	令和 4 年 7 月 6 日 (水)	令和 4 年 11 月 9 日 (水)
男 鹿 市	令和 4 年 7 月 28 日 (木)	—
湯 沢 市	令和 4 年 6 月 6 日 (月)	令和 4 年 12 月 2 日 (金)
鹿 角 市	令和 4 年 7 月 5 日 (火)	令和 4 年 11 月 8 日 (火)
由利本荘市	令和 4 年 5 月 31 日 (火)	—
潟 上 市	令和 4 年 7 月 28 日 (木)	—
大 仙 市	令和 4 年 6 月 30 日 (木)	令和 4 年 11 月 28 日 (月)
北 秋 田 市	令和 4 年 7 月 6 日 (水)	令和 4 年 11 月 16 日 (水)
にかほ市	令和 4 年 8 月 3 日 (水)	—
仙 北 市	令和 4 年 7 月 25 日 (月)	令和 4 年 12 月 7 日 (水)
小 坂 町	令和 4 年 7 月 5 日 (火)	—
上小阿仁村	—	—
藤 里 町	令和 4 年 8 月 5 日 (金)	—

三種町	令和4年6月2日(木)	令和4年10月31日(月)
八峰町	令和4年6月2日(木)	—
五城目町	令和4年8月8日(月)	—
八郎潟町	令和4年8月8日(月)	—
井川町	令和4年8月8日(月)	令和4年10月26日(水)
大潟村	—	—
美郷町	令和4年8月25日(木)	—
羽後町	令和4年8月25日(木)	—
東成瀬村	—	—

(4) 相談等の実施状況

① 相談受付状況 (県内市町村福祉生活サポートセンター実績)

相談件数 13,548 件

内 訳 認知症高齢者関係相談 7,492 件
知的障害者関係相談 2,483 件
精神障害者関係相談 3,452 件
その他相談 121 件

② 契約締結の状況

契約件数 140 件

内 訳 認知症高齢者 97 件
知的障害者 11 件
精神障害者 31 件
その他 1 件

③ 解約の状況

解約件数 126 件

内 訳 認知症高齢者 92 件
知的障害者 15 件
精神障害者 18 件
その他 1 件

④ 実利用件数

契約件数 558 件

内 訳 認知症高齢者 366 件
知的障害者 75 件
精神障害者 111 件
その他 6 件

2 権利擁護支援の体制構築モデル事業【共同募金助成事業】

(1) 推進委員会

第1回 期 日 令和4年7月4日(月)

会 場 秋田県社会福祉会館

内 容 モデル社協(大仙市、仙北市)における達成目標と事業計画

アドバイザーによる現地指導

第2回 期 日 令和4年11月7日(月)

会 場 秋田県社会福祉会館

内 容 モデル社協における進捗状況の確認

第3回 期 日 令和5年3月15日(水)

会 場 秋田県社会福祉会館

内 容 モデル社協における取組(事業実施状況の報告、成果、課題及び今後の目標)

次年度の県及び県社協における取組予定

(2)アドバイザーによる現地指導等

大仙市社協

期 日 令和5年3月2日(木)

会 場 大仙市健康福祉会館

内 容 行政・福祉関係者との勉強会

仙北市社協

期 日 令和4年8月25日(木)

会 場 仙北市社会福祉協議会

内 容 準備委員会委員・行政との勉強会

3 成年後見制度利用促進事業

(1)成年後見制度利用促進実務研修会

①体制整備促進研修

期 日 令和4年7月29日(金)

会 場 秋田市民交流プラザ

対象者 市町村職員、市町村社会福祉協議会職員、地域包括支援センター職員

参加者 34名

内 容 講義「第2期基本計画の概要と市町村の体制整備」

新潟大学法学部 教授 上山泰 氏

説明「県内の体制整備について」

秋田県健康福祉部地域・家庭福祉課 主任 小木田将規 氏

実践紹介1「中核機関による広報の取組」

岩手県北上市長寿介護課 主任社会福祉主事 川村元気 氏

実践紹介2「真狩村における中核機関設置と体制の整備について」

北海道真狩村社会福祉協議会 主事 佐藤秀次 氏

実践紹介3「単独から広域連携に移行した中核機関の取組」

青森県八戸市高齢福祉課 地域包括支援センター

主査・社会福祉士 島田拓巳 氏

情報交換「体制整備に向けた現状の取組と課題について」

②権利擁護支援機能強化研修

期 日 令和 4 年 9 月 15 日 (木)

会 場 秋田県 J A ビル

対象者 市町村職員、市町村社会福祉協議会職員、地域包括支援センター職員、相談支援事業所職員

参加者 45 名

内 容 講義 1 「申立てに伴う必要書類と書き方」

説明 三種町社会福祉協議会 権利擁護センター 小野真美 氏

三種町成年後見支援センター 小松真理子 氏

助言 秋田家庭裁判所 裁判所書記官 高野洋 氏

講義 2 「市町村長申立ての流れとポイント」

講師 湯沢市地域包括支援センター 主幹 佐藤由紀子 氏

講義・グループワーク「後見開始後の実務上の課題」

講師 公益社団法人成年後見センター・リーガルサポート秋田支部

柴田緑 氏

(2)市町村等の体制整備に関する巡回支援

(アドバイザー派遣による巡回支援)

① 由利本荘市社協

第 1 回 期 日 令和 4 年 7 月 1 日 (金)

派遣者 司法書士 工藤亨 氏

第 2 回 期 日 令和 4 年 11 月 10 日 (木)

派遣者 三種町権利擁護センター 小野真美 氏

三種町成年後見支援センター 小松真理子 氏

② にかほ市

期 日 令和 4 年 12 月 12 日 (月)

派遣者 三種町成年後見支援センター 小松真理子 氏

③ 大館市

期 日 令和 5 年 1 月 17 日 (火)

派遣者 鹿角市社会福祉協議会 事務局長 浅水和也 氏

④ 藤里町

期 日 令和 5 年 1 月 26 日 (木) ※オンライン

派遣者 北海道真狩村社会福祉協議会 主事 佐藤秀次 氏

(男鹿南秋地域の体制整備に向けた巡回支援)

巡回先 潟上市 令和 4 年 6 月 28 日 (火)

男鹿市 令和 4 年 7 月 21 日 (木)

五城目町 令和 4 年 7 月 21 日 (木)

八郎潟町 令和 4 年 7 月 14 日 (木)

井川町 令和 4 年 7 月 21 日 (木)

大潟村 令和 4 年 7 月 14 日 (木)
参加者 市町村、市町村社会福祉協議会、県、県社協
(男鹿南秋地域勉強会へのアドバイザー派遣) ※オンライン
第 1 回 期 日 令和 5 年 2 月 16 日 (木)
派遣者 司法書士 齊藤幹 氏
第 2 回 期 日 令和 5 年 3 月 14 日 (火)
派遣者 兵庫県西播磨成年後見支援センター長 吉田好孝 氏
弁護士 笈川正典 氏

(3) 関係団体等との連携支援会議

① 県域会議

第 1 回 期 日 令和 4 年 6 月 3 日 (金)
会 場 秋田県社会福祉会館
内 容 令和 3 年度事業の実施及び市町村の体制整備状況、令和 4 年度事業
について
第 2 回 期 日 令和 5 年 3 月 22 日 (水)
会 場 秋田県社会福祉会館
内 容 令和 4 年度事業の実施状況、移行検討シート (案)、令和 5 年度事業
について

② 地域会議

期日・会場

大館・鹿角	令和 5 年 2 月 28 日 (火)	プラザ杉の子 (大館市)
能代・山本	令和 5 年 2 月 27 日 (月)	プラザ都 (能代市)
男鹿・南秋	令和 4 年 8 月 2 日 (火)	トレイク潟上 (潟上市)
秋田・由利	令和 5 年 2 月 8 日 (水)	アキタパークホテル (秋田市)
大仙・仙北	令和 5 年 2 月 21 日 (火)	大曲エンパイヤホテル (大仙市)
横手・湯沢	令和 5 年 2 月 14 日 (火)	湯沢グランドホテル (湯沢市)

内 容

男鹿・南秋 体制整備状況と課題を踏まえた広域連携体制に関する情報交換等
その他の地域 中核機関等の体制整備、社協の権利擁護センター設置や法人後見実
施に向けた現状と課題及び今後の展望に関する情報交換等

(4) 意思決定支援研修会

期 日 令和 4 年 12 月 21 日 (水)
会 場 秋田市民交流プラザ
参加者 42 名
内 容 講義・グループワーク「権利擁護としての意思決定支援の必要性」
講 師 秋田弁護士会 高齢者・障害者問題対策委員長 藤原美佐子 氏
権利擁護センターばあとなあ秋田 小林悠希 氏

(5) 法人後見受任体制整備研修会

期 日 令和 4 年 8 月 31 日 (水)

会 場 オンライン

参加者 50 名

内 容 講義「法人後見の必要性と取り組む意義」

新潟大学法学部 教授 上山泰 氏

実践発表 1「社協による法人後見の取組」

能代市社会福祉協議会 権利擁護センター所長 斉藤洋子 氏

実践発表 2「施設法人による法人後見の取組」

青森県社会福祉法人青空会 あおぞら成年後見相談所長 碓井里紗 氏

実践発表 3「広域による法人後見の取組」

岩手県久慈市社会福祉協議会 権利擁護支援係長 向井知成 氏

質疑応答・情報交換

(6) 日常生活自立支援事業から成年後見制度への移行支援

第 1 回 県北 令和 4 年 9 月 1 日 (木) 秋田県社会福祉会館

県央 令和 4 年 8 月 24 日 (水) 秋田県社会福祉会館

県南 令和 4 年 9 月 12 日 (月) 横手市ふれあいセンターかまくら館

第 2 回 県北 令和 4 年 10 月 18 日 (火) オンライン

県央 令和 4 年 10 月 13 日 (木) オンライン

県南 令和 4 年 10 月 12 日 (水) オンライン

第 3 回 県北 令和 4 年 11 月 22 日 (火) オンライン

県央 令和 4 年 11 月 25 日 (金) オンライン

県南 令和 4 年 11 月 24 日 (木) オンライン

第 4 回 県北 令和 5 年 1 月 30 日 (月) オンライン

県央 令和 5 年 1 月 24 日 (火) オンライン

県南 令和 5 年 1 月 26 日 (木) オンライン

参加者 家庭裁判所 (支部)、弁護士会、市町村、市町村社会福祉協議会、県、県社協

内 容 第 1 回 成年後見制度への適正な移行に向けた説明

第 2 回 ケース検討

第 3 回 ケース検討

第 4 回 まとめ (移行時のポイント等の整理)

<事業項目 4 生活困窮者支援の強化>

1 生活困窮者自立支援制度に係る社協連絡会

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止

2 あきた子ども支援ネットワーク構築事業【共同募金助成事業】

(1) 支援団体連絡会議の開催

期 日 第1回 令和4年4月26日(火)

第2回 令和4年9月14日(水)

会 場 オンライン

(2) 勉強会(子どもの居場所づくりに向けた人材養成講座)の開催

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため全県規模の勉強会は中止

期 日 令和5年3月2日(木)

会 場 仙北市角館交流センター

参加者 12名

内 容 実践紹介 大仙市ハッピーチルドレン 戸嶋実貴子氏
横手市あさひこども食堂 代表 坂上喜也氏

(3) WEBサイトの機能拡充

L I N E W O R K S 導入により支援団体等との連携を強化

3 ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業

(1) 入学準備金

新規貸付決定件数 2件

令和4年度貸付額 1,000,000円

(2) 就職準備金

新規貸付決定件数 2件

令和4年度貸付額 400,000円

4 児童養護施設退所者等に対する自立支援資金貸付事業

(1) 生活支援費

①過年度決定件数(継続) 3件

令和4年度貸付額 1,800,000円

②新規貸付決定件数 1件

令和4年度貸付額 600,000円

(2) 家賃支援費

①過年度決定件数(継続) 3件

令和4年度貸付額 1,260,000円

②新規貸付決定件数 1件

令和4年度貸付額 541,200円

<事業項目5 生活福祉資金貸付事業の推進>

1 生活福祉資金貸付の推進

(1) 生活福祉資金運営委員会

原則として毎月1回開催し、新規申込、支払猶予、延滞利子免除等の審査を行った。

(11回開催)

◆申請及び貸付決定状況（新型コロナウイルス特例貸付分を除く）
 <総合支援資金、福祉資金、教育支援資金>

区 分		申 請	決 定
総合支援資金	件数	26 (26) 件	23 (23) 件
	金額	9,678,020 円	7,132,290 円
福祉資金 (福祉費)	件数	41 (10) 件	31 (9) 件
	金額	25,320,820 円	15,464,672 円
福祉資金 (緊急小口資金)	件数	101 (37) 件	72 (31) 件
	金額	8,528,627 円	5,653,627 円
生活復興支援資金	件数	0 件	0 件
	金額	0 円	0 円
教育支援資金	件数	50 (3) 件	49 (3) 件
	金額	50,441,002 円	49,567,371 円
合 計	件数	218 (76) 件	175 (66) 件
	金額	93,968,469 円	77,817,960 円

※（ ）は自立相談支援事業を利用した件数の再掲

◆支払猶予の状況

資金種類	申 請 件 数	決 定 件 数
総合支援資金、福祉資金、教育支援資金	0 件	0 件
不動産担保型生活資金	2 件	2 件
要保護世帯向け不動産担保型生活資金	3 件	3 件
合 計	5 件	5 件

◆延滞利子免除の状況

資金種類	申 請 状 況		決 定 状 況	
	件数	金額	件数	金額
総合支援資金、福祉資金、教育支援資金	3 件	1,277,806 円	3 件	1,277,806 円
不動産担保型生活資金	0 件	0 円	0 件	0 円
要保護世帯向け不動産担保型生活資金	0 件	0 円	0 件	0 円
合 計	3 件	1,277,806 円	3 件	1,277,806 円

◆償還免除の状況

資金種類	申 請 状 況		決 定 状 況	
	件数	金額 ※利子含む	件数	金額 ※利子含む
総合支援資金、福祉資金、教育支援資金	29 件	20,921,342 円	29 件	20,921,342 円
不動産担保型生活資金	0 件	0 円	0 件	0 円
要保護世帯向け不動産担保型生活資金	0 件	0 円	0 件	0 円
臨時特例つなぎ資金	0 件	0 円	0 件	0 円
合 計	29 件	20,921,342 円	29 件	20,921,342 円

(2) コロナ特例貸付

新型コロナウイルス感染症の影響による休業等に伴い収入が減少した世帯等に対し、令和2年3月25日から令和4年9月30日まで特例貸付の申請を受け付けた。

◆申請及び貸付決定状況

<総合支援資金、緊急小口資金>

区 分		申 請	決 定	
緊急小口資金	件 数	313 件	未決繰越分	18 件
			当年度申請分	283 件
			計	301 件
金 額	52,230,000 円	49,220,000 円		
総合支援資金	件 数	162 件	未決繰越分	9 件
			当年度申請分	145 件
			計	154 件
金 額	86,100,000 円	82,150,000 円		
合 計	件 数	475 件	件 数	455 件
	金 額	138,330,000 円	金 額	131,370,000 円

◆償還猶予の状況

資金種類	申 請 件 数	決 定 件 数
緊急小口資金	64 件	64 件
総合支援資金（初回）	28 件	28 件
合 計	92 件	92 件

◆償還免除の状況

資金種類	申 請 状 況		決 定 状 況	
	件数	金額	件数	金額
緊急小口資金	1,116 件	177,767,213 円	1,063 件	169,660,547 円
総合支援資金（初回）	432 件	208,679,000 円	418 件	202,695,250 円
総合支援資金（延長）	2 件	1,050,000 円	2 件	1,050,000 円
総合支援資金（再貸付）	3 件	1,600,000 円	3 件	1,600,000 円
合 計	1,553 件	389,096,213 円	1,486 件	375,005,797 円

(3) 現地償還指導

① 現地個別償還指導

滞納世帯の生活状況把握と自立に向けた支援を目的に、市町村社会福祉協議会の協力のもと、借受世帯等の自宅を訪問し、現地指導を行った。

対象：9市町及び県社協扱いケース（559件）

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため自宅訪問は9月から実施

② 初期滞納世帯への指導

償還期間が始まって間もない時期に滞納が続く世帯に対し、文書による注意喚起を行う（136件）とともに、状況把握に努めた。

(4) 債権管理の強化推進

① 顧問弁護士の指導・協力による長期滞納世帯の実態把握

償還残額通知の発行 年2回 9,044件（11,061通）

滞納に対する督促状の発行 年2回 3,148件（4,679通）

行方不明者の住所追跡（住民票の取得） 213件

内容証明郵便による通知の送付 30件（25人）

② 要保護世帯向け不動産担保型生活資金の不動産売却に向けた対応

任意売却による償還完了

3 件

◆償還状況（特例貸付を除く）

<総合支援資金、福祉資金、教育支援資金>

区 分			償還計画 (償還免除を含む)	償還実績 (償還免除を除く)	償還率
健全債権	償還 期限内	当年度	62,280,142 円	49,531,005 円	79.5%
		過年度	25,990,396 円	8,259,597 円	31.8%
	償還期限後		70,695,593 円	7,679,764 円	10.9%
	小 計		158,966,131 円	65,470,366 円	41.1%
長期滞留 債権	償還 期限内	当年度	19,944,670 円	2,084,660 円	10.5%
		過年度	115,640,652 円	9,534,318 円	8.2%
	償還期限後		685,585,627 円	25,213,597 円	3.7%
	小 計		821,170,949 円	36,832,575 円	4.5%
合 計			980,137,080 円	102,302,941 円	10.4%

◆償還状況（特例貸付）

<緊急小口資金、総合支援資金>

区 分			償還計画 (償還免除を含む)	償還実績 (償還免除を除く)	償還率
健全債権	償還 期限内	当年度	409,412,695 円	17,979,625 円	4.4%
		過年度	589,390 円	173,280 円	29.4%
	償還期限後		1,056,927 円	228,450 円	21.6%
	小 計		411,059,012 円	18,381,355 円	4.5%
長期滞留 債権	償還 期限内	当年度	0 円	0 円	—
		過年度	0 円	0 円	—
	償還期限後		1,154,180 円	0 円	0.0%
	小 計		1,154,180 円	0 円	0.0%
合 計			412,213,192 円	18,381,355 円	4.5%

(5)生活福祉資金担当民生委員並びに市町村社協担当職員合同研修会

※新型コロナウイルス特例貸付対応等のため中止

(6)生活福祉資金事務指導

※新型コロナウイルス特例貸付対応等のため中止

2 要保護世帯向け不動産担保型生活資金の運営

◆申請及び貸付決定状況

申請なし

◆償還状況

区 分		貸付額	償還額 ※元金のみ	免除額 ※元金のみ
不動産担保型 生活資金	件 数	0 件	0 件	0 件
	金 額	0 円	0 円	0 円
要保護世帯向け不動産 担保型生活資金	件 数	3 件	3 件	0 件
	金 額	12,303,000 円	12,303,000 円	0 円
合 計	件 数	3 件	3 件	0 件
	金 額	12,303,000 円	12,303,000 円	0 円

3 臨時特例つなぎ資金の運営

◆申請及び貸付決定状況 申請なし

◆償還状況

区 分		償還計画 (償還免除を含む)	償還実績 (償還免除を除く)	償還率	
健全 債権	償還 期限内	当年度	0 円	—	
		過年度	0 円	—	
	償還期限後		0 円	0 円	—
	小 計		0 円	0 円	—
長期滞留 債権	償還 期限内	当年度	0 円	—	
		過年度	0 円	—	
	償還期限後		889,900 円	110,000 円	12.4%
	小 計		889,900 円	110,000 円	12.4%
合 計		889,900 円	110,000 円	12.4%	

4 その他

(1)生活福祉資金貸付制度に関する研修・学習会への協力

令和 4 年 10 月 26 日(水) 由利本荘市東由利地区民生児童委員協議会定例会

令和 5 年 2 月 17 日(金) 由利本荘市岩城地区民生児童委員協議会定例会

令和 5 年 2 月 27 日(月) 横手市生活福祉資金担当民生委員・社協職員合同研修会

<事業項目 6 高齢者相談事業の推進>

1 「ふれあい安心電話」システム推進事業

※事業廃止に向けた業務の実施

2 高齢者総合相談・生活支援センター運営事業

(1)一般相談及び専門相談

相談日 月曜日から金曜日

相談件数

(単位：件)

相談種別 \ 相談経路	一 般	専 門	合 計
家族・家庭関係	438	14	452
法律関係	273	116	389
経済・生活関係	252	11	263
福祉サービス関係	324	0	324
生きがづくり関係	124	0	124
保健・医療関係	208	10	218
合 計	1,619	151	1,770

(2)福祉用具に関する相談支援、福祉用具等の展示

(3) 自立支援・介護予防に関する講座(県民介護講座、福祉用具選択コース)の開催

①県民介護講座の開催(年6回)

- ア 期 日 令和4年6月29日(水)
会 場 秋田県社会福祉会館
参加者 30名
内 容 講義「防災と地域のつながり」
～高齢者向けの防災準備と地域にある防災資源を学ぶ～
秋田市消防団員 保戸野分団 渡辺有美氏
- イ 期 日 令和4年7月27日(水)
会 場 秋田県社会福祉会館
参加者 29名
内 容 講義「介護が必要になったら①」～どこに連絡するの?～
牛島地域包括支援センター南寿園 佐々木基成氏
- ウ 期 日 令和4年8月24日(水)
会 場 秋田県社会福祉会館
参加者 27名
内 容 講義「介護が必要になったら②」～社会資源と介護保険～
牛島地域包括支援センター南寿園 佐々木基成氏
- エ 期 日 令和4年9月28日(水)
会 場 秋田県社会福祉会館
参加者 30名
内 容 講義「介護が必要となったら③」
～住み慣れた街で暮らすためには～
学校法人コア学園 秋田リハビリテーション学院
ジョーンズ佳子氏
- オ 期 日 令和4年10月26日(水)
会 場 秋田県社会福祉会館
参加者 31名
内 容 講義「フレイル予防」～自宅で簡単に体を動かそう～
学校法人コア学園 秋田リハビリテーション学院
ジョーンズ佳子氏
- カ 期 日 令和4年11月30日(水)
会 場 秋田県社会福祉会館
参加者 30名
内 容 講義「終活!!」～こういう時どうする?～
あきた終活支援センター 菅原博美氏

②福祉用具選択コース 95人/年

3 地域包括ケア専門職派遣事業

(1) 専門職派遣（自立支援型地域ケア会議）

派遣先	派遣日	会場	派遣職種
三種町	令和 4 年 5 月 27 日 (金)	オンライン	薬剤師、歯科衛生士、管理栄養士、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、福祉用具専門相談員 (7 職種)
三種町	令和 4 年 8 月 30 日 (火)	オンライン	薬剤師、歯科衛生士、管理栄養士、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、福祉用具専門相談員 (7 職種)
三種町	令和 4 年 11 月 25 日 (金)	オンライン	薬剤師、歯科衛生士、管理栄養士、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、福祉用具専門相談員 (7 職種)
三種町	令和 5 年 2 月 22 日 (水)	オンライン	薬剤師、歯科衛生士、管理栄養士、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、福祉用具専門相談員 (7 職種)
能代市	令和 5 年 3 月 16 日 (木)	能代中央公民館	薬剤師、歯科衛生士、管理栄養士、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、福祉用具専門相談員 (7 職種)

(2) 自立支援・介護予防普及アドバイザー派遣（自立支援型地域ケア会議）

派遣先	派遣日	会場	派遣職種
三種町	令和 4 年 5 月 27 日 (金)	オンライン	自立支援・介護予防普及アドバイザー
三種町	令和 4 年 8 月 30 日 (火)	オンライン	自立支援・介護予防普及アドバイザー
三種町	令和 4 年 11 月 25 日 (金)	オンライン	自立支援・介護予防普及アドバイザー
三種町	令和 5 年 2 月 22 日 (水)	オンライン	自立支援・介護予防普及アドバイザー
能代市	令和 5 年 3 月 16 日 (木)	能代中央公民館	自立支援・介護予防普及アドバイザー

4 包括的支援事業推進事業の実施

(1) 弁護士、司法書士及び社会福祉士による高齢者権利擁護定期相談の実施

(毎月第 3 木曜日 年 12 回)

(単位：件)

相談経路 相談種別	地域包括支援センター等	一般	合計
人権・虐待	0	1	1
成年後見	1	9	10
財産管理	0	5	5

金銭貸借	1	0	1
消費者被害	0	0	0
その他	1	4	5
合計	3	19	22

(2) 高齢者虐待防止セミナー(施設編)の開催

期 日 令和 4 年 9 月 21 日 (水) ~22 日(木)

会 場 秋田県社会福祉会館 (オンライン併用)

参加者 29 名 (会場 2 名、オンライン 27 名)

講 師 講義 1 千秋パーク法律事務所 弁護士 藤原美佐子 氏

講義 2・3 演習 1・2

特定医療法人 荘和会 障害者自立支援センター「和」

センター長 浅利和磨 氏

内 容 講義 1 「高齢者虐待防止法における市町村・地域包括支援センター等の関係者の役割と対応」

講義 2 「虐待対応における市町村・地域包括支援センター等の権利擁護の視点と虐待対応の基本的な流れ」

講義 3 「通報受理、事実確認や緊急性の判断等の初動期対応のポイント」

演習 1 「初動期段階における市町村・地域包括支援センター等の対応」

演習 2 「事例演習を通じた市町村・地域包括支援センター等の虐待対応の一連の流れの理解」

5 地域ケア・マネジメント支援機能強化事業

(1) 自立支援・介護予防普及トップセミナー

期 日 令和 4 年 8 月 19 日(金)

会 場 オンライン

参加者 38 名

内 容 講演「第 9 期計画策定に向けた市町村の取組」

一般財団法人医療経済研究・社会保険福祉協会

医療経済研究機構政策推進部 部長 服部真治 氏

「第 9 期計画策定に向けた国の方針・今後の流れ」

「データに基づく秋田県内の状況」

一般財団法人医療経済研究・社会保険福祉協会

医療経済研究機構政策推進部 課長 柳史生 氏

(2) 自立支援型地域ケア会議実践研修

①司会者編

期 日 令和 4 年 9 月 30 日(金)

会 場 オンライン

参加者 17 名

内 容 講義「地域包括ケアシステムと自立支援型地域ケア会議」

東海大学建築都市学部 特任准教授

東京大学高齢社会総合研究機構 客員研究員 後藤純 氏

②基礎編

期 日 令和 4 年 10 月 28 日(金)

会 場 オンライン

参加者 14 名

内 容 講義「ICF の視点で考える地域ケア会議の活用方法」

秋田県自立支援・介護予防普及アドバイザー 宮田信悦 氏

「自立支援型地域ケア会議を活用して次期トリプル改定に備える」

東海大学建築都市学部 特任准教授

東京大学高齢社会総合研究機構 客員研究員 後藤純 氏

ファシリテーター

秋田県自立支援・介護予防普及アドバイザー 鈴木和也 氏

秋田県自立支援・介護予防普及アドバイザー 村木貴子 氏

期 日 令和 4 年 11 月 11 日(金)

会 場 オンライン

参加者 20 名

内 容 講義「ICF の視点で考える地域ケア会議の活用方法」

秋田県自立支援・介護予防普及アドバイザー 原田大河 氏

「自立支援型地域ケア会議を活用して次期トリプル改定に備える」

東海大学建築都市学部 特任准教授

東京大学高齢社会総合研究機構 客員研究員 後藤純 氏

ファシリテーター

秋田県自立支援・介護予防普及アドバイザー 湊洋太 氏

秋田県自立支援・介護予防普及アドバイザー ジョーンズ佳子 氏

期 日 令和 4 年 12 月 23 日(金)

会 場 森岳温泉 ホテル森山館 太平の間

参加者 70 名

内 容 講義 1 「かかりつけ医とこれからの地域医療」

医療法人双山会 森岳温泉病院 島田薫 氏

講義 2 「長生きのコツ、老いの工夫」

秋田県自立支援・介護予防普及アドバイザー 原田大河 氏

講義 3 「まちづくりとして考える自立支援」「フレイルチェック」

東海大学建築都市学部 特任准教授

東京大学高齢社会総合研究機構 客員研究員 後藤純 氏

③多職種編

期 日 令和 4 年 11 月 12 日 (土)

会 場 オンライン

参加者 33名

内 容 講義1「自立支援型地域ケア会議と多職種連携のコツ」
東海大学建築都市学部 特任准教授
東京大学高齢社会総合研究機構 客員研究員 後藤純 氏
講義2「生きがいを見つけて支える」
秋田県自立支援・介護予防普及アドバイザー 花田定晴 氏
講義3「たべることは生きること」
秋田県自立支援・介護予防普及アドバイザー 甫仮貴子 氏
ファシリテーター
秋田県自立支援・介護予防普及アドバイザー 鈴木克昌 氏
秋田県自立支援・介護予防普及アドバイザー 原田大河 氏
秋田県自立支援・介護予防普及アドバイザー 村木貴子 氏

期 日 令和4年11月26日(土)

会 場 秋田県社会福祉会館

参加者 17名

内 容 講義1「自立支援型地域ケア会議と多職種連携のコツ」
東海大学建築都市学部 特任准教授
東京大学高齢社会総合研究機構 客員研究員 後藤純 氏
講義2「生きがいを見つけて支える」
秋田県自立支援・介護予防普及アドバイザー 湊洋太 氏
講義3「たべることは生きること」
秋田県自立支援・介護予防普及アドバイザー 甫仮貴子 氏
ファシリテーター
秋田県自立支援・介護予防普及アドバイザー 宮田信悦 氏
秋田県自立支援・介護予防普及アドバイザー 原田大河 氏
秋田県自立支援・介護予防普及アドバイザー 鈴木和也 氏

(3) 自立支援・介護予防普及アドバイザー養成研修

期 日 第1回 令和4年8月29日(月)

第2回 令和4年9月30日(金)

会 場 オンライン

参加者 第1回 令和4年8月29日(月) 9名

第2回 令和4年9月30日(金) 10名

内 容 第1回 講義「地域包括ケアシステムの中の自立支援とは」

第2回 講義「自立支援・介護予防普及アドバイザーとして地域包括ケアシステムを推進していく上で必要なこと」

講 師 東海大学建築都市学部 特任准教授

東京大学高齢社会総合研究機構 客員研究員 後藤純 氏

推進項目2 地域づくり活動基盤の整備

<事業項目1 地域における支え合いの仕組みづくりの推進>

1 地域の福祉力向上事業【共同募金助成事業】

(1)地域の福祉力強化研修（支え合いマップインストラクター養成講座）

期日・会場

① 期 日 令和4年9月21日（水）～22日（木）、29日（木）

会 場 秋田市にぎわい交流館

② 期 日 令和4年9月30日（金）

会 場 大仙市大綱交流館

③ 期 日 令和4年11月14日（月）

会 場 秋田市にぎわい交流館

参加者 14名

内 容 講義・演習

講 師 住民流福祉総合研究所 木原孝久 氏

<事業項目2 民生委員・児童委員活動への支援>

1 民生委員・児童委員の資質向上

(1)民生委員児童委員協議会会長研修

期 日 令和4年11月4日（金）

会 場 ANAクラウンプラザホテル（オンライン併用）

参加者 128名（会場42名、オンライン86名）

内 容 講義「地域共生社会の実現に向けた民児協活動について」

高崎健康福祉大学健康福祉学部 教授 金井敏 氏

実践発表「一斉改選に伴う取組について」

～委員活動、民児協活動を引継ぎ、発展させるために～

発表者 横手市黒川民生児童委員協議会 会長 藤原幹子 氏

八郎潟町民生児童委員協議会 会長 大島素子 氏

(2)民生委員児童委員協議会新任会長研修

期 日 令和5年2月7日（火）

会 場 秋田県社会福祉会館（オンライン併用）

参加者 48名（会場36名、オンライン12名）

内 容 基調説明「委員活動及び民児協活動を支える取組について」

秋田県民生児童委員協議会事務局職員

講義「地域を取り巻く課題と民児協組織におけるリーダーの役割」

演習「民児協組織の機能強化に向けた定例会のあり方について」

講師 八戸学院大学健康医療学部 教授 吉田守実 氏

(3)中堅民生委員・児童委員研修会 ※実施後にWEB公開（委員限定）

期 日 令和4年8月19日（金）

会 場 ホテルメトロポリタン秋田
 参加者 71名
 内 容 講義1「小地域ネットワーク活動の充実・強化について」
 報告「小地域ネットワーク活動の推進に向けて」
 秋田県社会福祉協議会 地域福祉・生きがい振興部職員
 実践発表「小地域ネットワーク活動の実践とポイント」
 湯沢市社会福祉協議会 事務局次長 赤平一夫 氏
 講義2「本県の自殺対策とメンタルヘルスについて」
 秋田大学大学院医学系研究科 准教授 佐々木久長 氏

(4) 新任民生委員・児童委員ステップアップ研修〔事例研究編〕

<秋田市>

期 日 令和4年10月5日(水)
 会 場 秋田キャッスルホテル [秋田市]
 参加者 79名

<県北地区>

期 日 令和5年10月6日(木)
 会 場 ルネッサンスガーデン プラザ杉の子 [大館市] (オンライン併用)
 参加者 97名 (会場69名、オンライン28名)

<県央地区>

期 日 令和4年10月11日(火)
 会 場 秋田キャッスルホテル [秋田市] (オンライン併用)
 参加者 142名 (会場27名、オンライン115名)

<県南地区>

期 日 令和4年10月13日(木)
 会 場 横手セントラルホテル [横手市] (オンライン併用)
 参加者 105名 (会場103名、オンライン2名)
 内 容 事例学習「生活課題を抱える地域住民への支援について」
 講 師 ケアハウススプリングヒル 施設長 保泉拓 氏 (秋田市)
 大館市社会福祉事業団 主幹 伊藤政利 氏 (県北地区)
 特別養護老人ホームすこやか横手 生活相談員 小林悠希 氏 (県央地区)
 特別養護老人ホームすこやか大雄 施設長 長山正弘 氏 (県南地区)

2 民生委員互助共励事業の実施

(1) 弔慰金及び見舞金等の給付

給付内容	公務傷害	一般死亡	配偶者死亡	一般傷病	災害見舞	退任慰労
件数	3件	13件	24件	50件	1件	754件
金額	110,000円	390,000円	345,000円	474,000円	50,000円	3,798,000円

(2) 指定民生委員児童委員協議会の育成

民児協名	活動の重点	現地訪問	会場
能代市南地区 民生児童委員協議会	・小学校への支援活動 ・高齢者向け支援活動の強化	令和4年 9月8日(木)	能代市 中央公民館
由利本荘市鳥海地区 民生児童委員協議会	・町内会活動との連携強化 ・子育てを応援する地域づくり の推進	令和4年 8月24日(水)	鳥海総合支所、 障がい者支援事 業所

(3) 児童委員活動研修会

期 日 令和4年7月20日(水)

会 場 秋田キャッスルホテル(オンライン併用)

参加者 173名(会場53名、オンライン120名)

内 容 講義「主任児童委員の役割と民児協活動について」

事例学習「地域における主任児童委員の支援活動について」

講師 福島県民生児童委員協議会 副会長 古関久美子氏

(4) 生活福祉資金担当民生委員及び市町村社協担当職員合同研修会(再掲)

※開催中止

<事業項目3 地域におけるボランティア・市民活動の育成支援>

1 地域福祉の推進に向けたボランティア活動や市民活動への支援

(1) あきた車いすリサイクリング

修理活動の参加高校(6校)

大館桂桜高等学校、能代科学技術高等学校、男鹿工業高等学校、

大曲工業高等学校、横手清陵学院高等学校、湯沢翔北高等学校

車いす贈呈先

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、輸送ボランティアによる海外輸送を見合わせており、調整等の窓口となっている公益財団法人日本社会福祉弘済会で保管中。

参加校	修理台数(修理中含む)
大館桂桜高等学校	7台
能代科学技術高等学校	4台
男鹿工業高等学校	3台
大曲工業高等学校	1台
横手清陵学院高等学校	5台
湯沢翔北高等学校	0台
計	20台

(2) あきた車いすリサイクリングセミナー

期 日 令和4年8月18日(木)

会 場 秋田県社会福祉会館

参加者 23名

内 容 講義「あきた車いすリサイクル事業についての説明」
「空飛ぶ車いす事業の海外活動報告」
空飛ぶ車いすを応援する会 梅原直人 氏
発表「各高校の取組状況についての情報交換」
男鹿工業高等学校、大曲工業高等学校、湯沢翔北高等学校
演習「車いす修理のポイントについての講習」
講師 空飛ぶ車いすを応援する会 梅原直人 氏
中野雅之 氏
新潟医療福祉大学FWS 佐々木穂果 氏
大竹美桜 氏
小幡舞雪 氏
高野美空 氏

2 福祉教育推進事業【共同募金助成事業】

(1) 福祉教育推進セミナーの開催

期 日 令和 5 年 1 月 16 日 (月)
会 場 秋田拠点センターALVE
参加者 12 名
内 容 講義「地域との関わりにおけるファシリテーションスキルについて」
秋田ファシリテーション事務所 平元美沙緒 氏

(2) 市町村における福祉教育事業への支援

秋田県ボランティア団体連絡協議会への支援
地域住民向けに、3 市村（秋田市、由利本荘市、大潟村）で認知症に関する映画上映会を行った。

(3) 福祉教育推進検討委員会

期 日 令和 5 年 3 月 8 日 (水)
会 場 アキタパークホテル
内 容 福祉教育の現状と課題について

3 介護等体験調整事業

介護等体験参加者	148 名
申込学校数	5 校
体験受け入れ協力施設	47 施設

<事業項目 4 課題解決に向けた県民啓発の強化>

1 情報提供機能の充実

(1) 「社会福祉あきた」の発行
発行回数 5 回

発行部数 各 5,000 部 (367 号は 6,100 部)

(2) ホームページ等を活用した情報提供の強化

ニュース&トピックス 53 件、バナー広告 4 社

Facebook への記事掲載 28 件

(3) メールマガジンの配信

月 2 回配信 (対象 611 カ所)

2 秋田県社会福祉大会

期 日 令和 4 年 10 月 27 日 (木)

会 場 あきた芸術劇場「ミルハス」

参加者 559 名

表彰式典 秋田県知事表彰 222 名 9 団体

秋田県社会福祉協議会会長表彰 97 名 3 団体

実践発表 「みんなが集まるお家とテーブル～子育て家庭を応援する取組」

小坂町社会福祉協議会子ども支援サポーター 和田由香 氏

秋田ノーザンハピネッツ株式会社 経営企画室 小原諒平 氏

記念講演 「持続可能な地域共生社会の実現に向けて～地域と歩んで 70 年、これからの

地域福祉活動を考える～」

慶應義塾大学経済学部教授 駒村康平 氏

3 県民フォーラム【共同募金助成事業】

地域の支え合いによるまちづくりを考える県民フォーラム

期 日 令和 5 年 3 月 18 日 (土)

会 場 ANAクラウンプラザホテル秋田

参加者 84 名

内 容 講演「地域をともに創る、地域共生社会の実現を目指して」

八戸学院大学 教授 吉田守実 氏

講演「がんばっぺ、オラの大好きな日本」～ボランティアと支え合い～

タレント、山形弁研究家 ダニエル・カール 氏

<事業項目 5 高齢者の生きがい・健康づくりの推進>

1 高齢者の健康づくり及び創作活動の支援

(1) 第 34 回全国健康福祉祭神奈川・横浜・川崎・相模原大会への選手派遣

期 日 令和 4 年 11 月 12 日 (土)～15 日 (火)

会 場 神奈川県内

参加者 153 名

種 目 スポーツ関連イベント：スポーツ交流大会 10 種目、

ふれあいスポーツ交流大会 18 種目

生きがい関連イベント：5 種目

(2)いきいき長寿あきた 2022 ねんりんピック スポーツ親睦大会

期 日 令和 4 年 9 月 2 日 (金)～令和 5 年 2 月 26 日 (日)

会 場 大館樹海ドーム、秋田市八橋運動公園周辺各競技場、秋田県営中央公園スカイドーム、中央シルバーエリア体育館 等

参加者 1,715 名 (18 種目・20 開催・2 中止)

①開催種目

種 目	期 日
ゲートボール	令和 4 年 9 月 2 日 (金)
ソフトテニス	令和 4 年 9 月 3 日 (土)
剣道	令和 4 年 9 月 10 日 (土)
太極拳	令和 4 年 9 月 11 日 (日)
グラウンドゴルフ (県北)	令和 4 年 9 月 13 日 (火)
将棋	令和 4 年 9 月 17 日 (土)
テニス	令和 4 年 9 月 22 日 (木)
囲碁	令和 4 年 9 月 24 日 (土)
ペタンク	令和 4 年 9 月 28 日 (水)
グラウンドゴルフ (県南)	令和 4 年 10 月 4 日 (火)
シャフルボード	令和 4 年 10 月 6 日 (木)
パークゴルフ	令和 4 年 10 月 10 日 (月)
グラウンドゴルフ (中央)	令和 4 年 11 月 1 日 (火)
ミニテニス	令和 4 年 11 月 17 日 (木)
スマイルボウリング	令和 4 年 11 月 21 日 (月)
ニチレクボール	令和 4 年 12 月 8 日 (木)
卓球	令和 4 年 12 月 17 日 (土)
ソフトバレーボール	令和 5 年 2 月 12 日 (日)
健康マーじゃん	令和 5 年 2 月 22 日 (水)
ダンススポーツ	令和 5 年 2 月 26 日 (日)

②中止種目

種 目	期 日
ソフトボール	令和 4 年 5 月 15 日 (日)
弓道	令和 4 年 8 月 6 日 (土)

(3)いきいき長寿あきた 2022 ねんりんピック 福祉・文化のつどい

期 日 令和 4 年 10 月 18 日 (火)

会 場 秋田拠点センターアルヴェ

内 容 いきいき講演会、いきいき活動発表

いきいき講演会

演題「シニアが生き生き暮らすために」

株式会社ALL-A (オール・エー)

シニアアドバイザー 西村修 氏

演題「秋田弁で楽しむ川柳講座」

エッセイスト あゆかわのぼる 氏

いきいき活動発表

スコップ三味線 ザジーバーズ

歌唱 保戸野NHKラジオ歌謡を歌う会

(4)いきいき長寿あきた 2022 ねんりんピック ねんりん美術展

期 日 令和 4 年 10 月 18 日 (火) ~20 日 (木)

会 場 秋田拠点センターアルヴェ

内 容 ねんりん美術展

出品者 81 名、観覧者 526 名

2 高齢者の生きがいと健康づくりに関する情報収集・提供

(1)仲間づくりの支援

ホームページや広報を通じて県内のサークル活動を紹介した。

・シニアサークル登録紹介数 353 サークル

(2)いきいきシニア生活誌「ロングライフ」の発行

発行回数 2 回 (No.143、No.144)

発行部数 各 3,000 部

(3)「元気にとしよる十ヶ条」の普及啓発

高齢者の健康や生きがいづくりの秘訣等となる「元気にとしよる十ヶ条」を、県民各層に対して啓発を図った。

3 高齢者が活躍する場づくり支援事業【高齢者未来づくり支援基金事業】

(1)高齢者が活躍する場づくり助成事業

①人材発掘・養成に係る活動 (1 件)

潟上市老人クラブ連合会 (潟上市)

「高齢者のための健康づくりセミナー 宅急便」

②地域の課題解決や地域の活性化に資する活動 (6 件)

飯島地域もりあげ隊 (秋田市)

「初心者サークル (趣味) 活動体験教室」

カトレアの会 (三種町)

「超高齢者向けサロン&見守り活動を地域に広げよう」

船岡いきいきチャレンジ (大仙市)

「宇津野健康けん玉教室」

特定非営利活動法人あきた元気ムラGBビジネス (秋田市)

「つながる・広がる「元気な高齢者」実践活動事業」

浅見内活性化委員会 (五城目町)

「みせっこあさみない拡充事業」

クラブサロン (三種町)

「生活にメリハリを！地域の居場所づくり&仲間づくり」

(2) ニュースポーツ振興事業

① ニュースポーツ用具の貸出 19件

スカットボール、ボッチャ、シャフルボード、ニチレクボール、スマイルボウリング

② ニュースポーツインストラクターの派遣 9件

(3) ロングライフ講座

会場・参加者

会場	前期	後期	合計
大館会場（大館市北地区コミセン）	33名	19名	52名
北秋田会場（北秋田市交流センター）	19名	22名	41名
能代会場（能代市中央公民館）	28名	22名	50名
潟上会場（かたりあん）	31名	28名	59名
秋田会場（秋田県社会福祉会館）	30名	28名	58名
にかほ会場（象潟公民館・仁賀保公民館）	15名	9名	24名
横手会場（サンサン横手）	14名	5名	19名
大仙会場（大仙市大曲交流センター）	12名	8名	20名
湯沢会場（湯沢市文化会館）	12名	17名	29名
合計	194名	158名	352名

内容 「おもしろ講座」

お笑いマルチタレント 北嶋一美氏

「音楽でフレッシュ！」

音楽療法教室 平川真実氏

「気象の知識を暮らしの中へ」

気象予報士 鳥潟幸男氏

「笑顔で元気 健康寿命を延ばすためには」

介護予防健康アドバイザー 小山田聖子氏

「健康長寿ライフ」

秋田県レクリエーション協会副理事長 谷藤勉氏

「ニュースポーツ体験」

スカットボール・シャフルボード

秋田県レクリエーション協会副理事長 菊地義寿氏 ほか

ボッチャ

秋田県ボッチャ協会会長 小森一昭氏 ほか

<事業項目6 県民の善意による支援の充実>

1 善意銀行の運営

(1) 金銭・物品の預託の受け入れ、調整、払出し

〔金銭預託状況〕 預託件数 7件 預託金額 673,100円

〔金銭払出状況〕 払出件数 3件 払出金額 620,000円
障がい者等の就労・勤労に関わる団体・施設へ 1件 (5カ所)
あきた子ども応援ネットワーク登録団体へ 1件 (6カ所)
災害対応事業へ 1件

〔物品預託状況〕

預託件数 4件

(預託物品)

車椅子 (自走式 10台、リクライニング式 10台)

自走式車椅子 (10台)

点字カレンダー (250部)

カレンダー (18部)

〔物品払出状況〕

物品払出件数 53件

(払出先)

県内社会福祉施設等 30件

町村社会福祉協議会 19件

県内社会福祉団体等 4件

(2) 広報

「社会福祉あきた」へ掲載

贈呈式の様子をフェイスブックへ投稿

(3) その他助成・奨励事業の情報提供・斡旋

民間社会福祉助成事業の紹介

ホームページへの掲載・周知

福祉関係者への助成・車両寄贈の寄贈先の調整

生命保険協会秋田県協会からの寄贈

市町村社会福祉協議会 1か所へ車両1台

障害者福祉施設 4か所へ各 100,000円

高齢者支援団体 2か所へ各 75,000円

2 災害遺児愛護基金事業への寄附金の充実

(1) 金銭寄附状況

件数 35件 金額 1,440,563円

(2) 災害遺児の状況

令和5年3月31日現在災害遺児数 22名(保護者数 14名)

令和4年度に新たに対象となった災害遺児数 3名(保護者数 2名)

(3) 給付金支給状況

見舞金 3名 300,000円

激励金 22名 660,000円

卒業祝金 4名 200,000円

入学祝金 2名 100,000円

(4) 災害遺児愛護基金事業運営委員会

期 日 令和4年6月10日(金)

会 場 秋田県社会福祉会館

内 容 令和3年度事業報告

寄附金・給付金等の状況について

事業のPR活動の取組について

3 共同募金運動への協力

(1) 共同募金運動への協力

赤い羽根公開プレゼンへの係員派遣

広報『社会福祉あきた』への掲載

社会課題解決プロジェクト募金運動連絡会議への出席

(2) 歳末たすけあい運動への協力

運動実施に関する市町村社会福祉協議会への周知

推進項目3 地域における公益活動の推進

<事業項目1 地域と社会福祉施設との協働事業の推進>

1 社会福祉法人・施設と社協の連携による地域公益活動の推進

(1) 秋田県地域公益活動事業の実施 参画法人数 24 法人

(2) 秋田県地域公益活動事業拠出金の配分 5 法人 10 事業へ 223 千円

(3) 地域公益活動事業拠出金管理委員会

期 日 令和4年11月9日(水)

会 場 秋田県社会福祉会館

内 容 協議「拠出金の配分について」

(4) 秋田県地域公益活動事業推進委員会

第1回 期 日 令和4年7月4日(月)

会 場 オンライン

内 容 今年度委員の紹介

令和3年度事業報告

令和4年度事業計画

第2回 期 日 令和5年3月17日(金)

会 場 オンライン

内 容 令和4年度事業の進捗状況について

令和5年事業の進め方について

(5) 秋田県地域公益活動連絡会

期 日 令和 5 年 2 月 3 日 (金)

会 場 オンライン

参加者 23 名

内 容 実践発表

「近隣法人の連携による買い物支援サービス事業」

社会福祉法人秋田県民生協会

「ひない食卓便 年末特別事業」

社会福祉法人比内ふくし会

情報提供「今後の見通しや中央・県南地域の進捗状況について」

推進項目 4 行政と社協のパートナーシップの強化

<事業項目 1 生活福祉課題に対する調査研究・提言機能の強化>

1 地域福祉推進委員会

(1) 地域福祉推進委員会

第 1 回 期 日 令和 4 年 7 月 8 日 (金)

会 場 秋田県社会福祉会館 (オンライン併用)

内 容 専門委員会の取組状況について

これまでの提言及び要望後の状況について

令和 4 年度福祉課題について

第 2 回 期 日 令和 4 年 9 月 1 日 (木)

会 場 秋田県社会福祉会館 (オンライン併用)

内 容 令和 4 年度における県及び市町村への要望項目案について

第 3 回 期 日 令和 4 年 12 月 1 日 (木)

会 場 秋田県社会福祉会館 (オンライン併用)

内 容 県及び市町村への政策要望項目及び回答について

専門委員会の取組状況について

地域福祉推進の取組について

第 4 回 期 日 令和 5 年 1 月 31 日 (火)

会 場 秋田県社会福祉会館 (オンライン併用)

内 容 専門委員会の取組状況について

地域福祉推進の取組について

次年度以降の地域福祉推進委員会の取組について

(2) 専門委員会

① 地域福祉活動計画検証委員会

期 日 令和 4 年 7 月 19 日 (火)

会 場 秋田県社会福祉会館 (オンライン併用)

内 容 秋田県地域福祉活動計画に基づく 4 年目の進捗状況について

SDGs としての取組について

②福祉教育推進検討委員会

期 日 令和 5 年 3 月 8 日 (水)
会 場 アキタパークホテル
内 容 福祉教育の現状と課題について

④ 社会福祉施設災害ネットワーク会議

期 日 令和 5 年 3 月 20 日 (月)
会 場 オンライン
参加者 5 名
内 容 これまでの取組状況について
人材派遣・備蓄品調査について

2 調査研究・政策提言活動の強化

地域福祉推進委員会で集約した政策要望書を県及び市町村に提出するとともに、県担当課長等と意見交換を行った。

<県担当課長等と意見交換>

期 日 令和 4 年 10 月 11 日 (火)
要望先 秋田県健康福祉部地域・家庭福祉課
内 容 要望項目 1 「重層的支援体制整備事業の促進について」(市町村社会福祉協議会連絡協議会)
要望項目 2 「小地域ネットワーク活動の推進に向けた行政機関等との連携について」(秋田県社会福祉協議会)

推進項目 5 災害支援体制づくりの推進

<事業項目 1 災害支援体制の構築>

1 市町村社協における災害支援体制の構築

(1) 災害ボランティアセンター設置運営マニュアル策定及び見直しに向けた支援
災害ボランティア研修を通して、市町村社会福祉協議会災害ボランティアセンター設置運営マニュアルの策定や見直しを働きかけることにより、災害支援体制構築の支援を行った。

(2) 災害ボランティア活動実地訓練

期 日 令和 4 年 10 月 12 日 (水)
会 場 雄物川コミュニティセンター (横手市)
参加者 20 名
内 容 講義・演習「災害ボランティアセンター設置運営の官民相互協力」
「横手市における避難所とボランティアの役割」
「災害ボランティアセンターの設置・運営訓練」

講 師 特定非営利活動法人にいがた災害ボランティアネットワーク
理事長 李仁鉄 氏

2 災害ボランティアセンターを担い支える人材の確保と養成

(1) 災害ボランティアコーディネーター養成研修

〔基礎編〕

期 日 令和 4 年 8 月 25 日 (木) ～26 日 (金)

会 場 秋田拠点センターALVE

参加者 24 名

内 容 講義・演習「災害支援の全体像と基礎理解」
「被災者ニーズと地域」
「ニーズキャッチとアセスメント」
「災害時のコーディネーション」
「災害時の活動拠点（災害ボランティアセンター）」
「様々なケースへの対応（事例検討）」

講 師 特定非営利活動法人にいがた災害ボランティアネットワーク
理事長 李仁鉄 氏

〔応用編〕

期 日 令和 4 年 9 月 8 日 (木) ～ 9 日 (金)

会 場 秋田拠点センターALVE

参加者 21 名

内 容 講義・演習「災害時の支援拠点の設置」
「災害ボランティアセンター設置訓練」
「災害ボランティアセンター運営訓練」
「運営支援者としての姿勢とスキル」
「復興・平常時の取組と福祉防災学習」

講 師 特定非営利活動法人にいがた災害ボランティアネットワーク
理事長 李仁鉄 氏

(2) 災害ボランティアコーディネーターフォローアップ研修

期 日 令和 4 年 10 月 11 日 (火)

会 場 秋田県社会福祉会館

参加者 29 名

内 容 講義・演習「地域による被災者支援活動について」
「協働型災害 VC の構築・運営方法について」

講 師 特定非営利活動法人にいがた災害ボランティアネットワーク
理事長 李仁鉄 氏

(3) 災害ボランティア活動実践研修会

期 日 ①令和 4 年 9 月 7 日 (水)

②令和 4 年 10 月 28 日 (金)

会 場 ①東成瀬村保健センター
②西木温泉ふれあいプラザ クリオン (仙北市)

参加者 ①17 名
②25 名

内 容 講義・演習「災害時の救援活動とボランティア・地域の実情」
「災害初期の地域における支援活動」

講 師 特定非営利活動法人にいがた災害ボランティアネットワーク
理事長 李仁鉄 氏

<事業項目 2 災害に備えた広域支援ネットワークの充実>

1 災害福祉広域支援体制整備事業

(1)秋田県災害福祉広域支援ネットワーク協議会会議

期 日 令和 5 年 3 月 20 日 (月)

会 場 オンライン

参加者 9 名

内 容 災害時における福祉支援活動の現状について
秋田県災害派遣福祉チームの研修並びに養成状況について

(2)秋田県災害派遣福祉チーム員登録基礎研修

期 日 令和 4 年 6 月 17 日 (金) ~18 日 (土)

会 場 17 日 秋田県社会福社会館 (オンライン併用)
18 日 秋田県社会福社会館

参加者 15 名 (17 日 : 会場 4 名、オンライン 11 名)

登録者 15 名

内 容 講義 I 「福祉支援活動の必要性」
東北福祉大学総合福祉学部 教授 都築光一 氏

講義 II 「秋田県が目指す災害派遣福祉チームとは」
秋田県健康福祉部地域・家庭福祉課 主任 小木田将規 氏

講義 III 「秋田県災害派遣福祉チーム活動マニュアル」
秋田県社会福祉協議会 施設振興・人材・研修部職員

講義 IV 「感染症予防の基本」
独立行政法人国立病院機構本部 DMA T 事務局
災害研修担当 小塚浩 氏

講義 V 「活動マニュアルの留意点」
東北福祉大学総合福祉学部 教授 都築光一 氏

講義 VI 「チーム活動の実際」
株式会社はる 指定居宅介護支援事業所はる
所長兼主任介護支援専門員 千葉正道 氏

演習 I II 「活動シミュレーション I II」

講師 東北福祉大学総合福祉学部 教授 都築光一 氏
ファシリテーター

社会福祉法人男鹿偕生会 理事長 佐藤哲彦 氏
大瀧村特別養護老人ホームひだまり苑

介護支援専門員 西山まゆみ 氏
指定障がい福祉サービス事業所愛仙
サービス管理責任者 石川晴久 氏

特別養護老人ホームふらっとけやき 介護主任 松井浩文 氏

(3) 秋田県災害派遣福祉チーム員スキルアップ研修 I

期 日 ①令和 4 年 10 月 31 日 (月)、②11 月 4 日 (金) ~ 5 日 (土)

会 場 ①秋田県社会福祉会館 (オンライン併用)

②秋田県社会福祉会館

参加者 34 名 (①会場 1 名、オンライン 18 名、免除 (令和 3 年度に初日のみ受講済の方) 15 名)

内 容 講義 I 「近年の動向」

東北福祉大学総合福祉学部 教授 都築光一 氏

講義 II 「活動マニュアルの理解」

秋田県社会福祉協議会 施設振興・人材・研修部職員

講義 III 「福祉支援対象者の理解」

東北福祉大学総合福祉学部 教授 都築光一 氏

講義 IV 「避難所における感染症対策」

独立行政法人国立病院機構本部 DMA T 事務局
災害研修担当 小塚浩 氏

講義 V 「避難所等での各種団体との連携の在り方」

大崎市社会福祉協議会古川地域包括支援センター
所長 齋藤靖幸 氏

講義 VI 「活動記録の方法と点検及びスクリーニング方法」

東北福祉大学総合福祉学部 教授 都築光一 氏

演習 I ~ IV 「活動シミュレーション I ~ IV」

講師 東北福祉大学総合福祉学部 教授 都築光一 氏
ファシリテーター

介護老人保健施設成寿苑 介護福祉士 斉藤隆広 氏

特別養護老人ホームふらっとけやき 介護主任 松井浩文 氏

障害者支援施設かわ舟の里角間川 支援員主任 丸山めぐみ 氏

大瀧村特別養護老人ホームひだまり苑

介護支援専門員 西山まゆみ 氏

指定障がい福祉サービス事業所愛仙

サービス管理責任者 石川晴久 氏

(4) 秋田県災害派遣福祉チーム員スキルアップ研修Ⅱ

期 日 令和 5 年 1 月 19 日 (木) ～21 日 (土)

会 場 秋田県社会福祉会館

参加者 20 名

内 容 講義Ⅰ「近年のDWA T活動について」

東北福祉大学総合福祉学部 教授 都築光一 氏

演習Ⅰ～Ⅵ「活動シミュレーションⅠ～Ⅵ」

講師 東北福祉大学総合福祉学部 教授 都築光一 氏

ファシリテーター

社会福祉法人男鹿偕生会 理事長 佐藤哲彦 氏

大潟村特別養護老人ホームひだまり苑

介護支援専門員 西山まゆみ 氏

指定障がい福祉サービス事業所愛仙

サービス管理責任者 石川晴久 氏

(5) 秋田県災害派遣福祉チーム活動訓練

期 日 令和 4 年 8 月 28 日 (日)

会 場 秋田市立旭北小学校

参加者 社会福祉法人男鹿偕生会 理事長 佐藤哲彦 氏

大潟村特別養護老人ホームひだまり苑 介護支援専門員 西山まゆみ 氏

指定障がい福祉サービス事業所愛仙 サービス管理責任者 石川晴久 氏

介護老人保健施設成寿苑 介護福祉士 斉藤隆広 氏

アドバイザー 東北福祉大学総合福祉学部 教授 都築光一 氏

2 災害時の広域支援ネットワーク会議

(1) 社会福祉施設災害ネットワーク会議の開催 (再掲)

《基本方針2 福祉サービスの基盤づくり－働きやすくやりがいの感じられる
福祉の職場づくりの推進－》

推進項目1 福祉人材の確保・育成・定着の推進

＜事業項目1 福祉人材の確保とマッチングの促進＞

1 求人開拓の推進

(1) 福祉人材情報システム（COOL システム）への登録促進

新規求人事業所数	621 カ所
有効求人事業所数	1,463 カ所

2 無料職業紹介機能の強化

(1) 福祉人材センターにおける求人・求職相談、登録受付状況

区 分	実 績	対前年増減	月平均
新規求人数（名）	1,957	△15	163
有効求人数（A）（名）	5,809	△357	484
新規求人事業所数（カ所）	621	59	52
有効求人事業所数（カ所）	1,463	90	122
応募・紹介数（名）	52	17	4
採用人数（名）	33	5	3
新規求職者数（名）	225	47	19
有効求職者数（B）（名）	610	39	51
有効求人倍率（A/B）（倍）	9.52	—	—

(2) 福祉人材センターにおける求人・求職相談、登録受付状況

求人相談	1,589 件	月平均 132 件
求職相談	974 件	月平均 81 件

(3) 関係機関主催事業における求職相談・求人及び求職登録の勧奨

① 県主催事業

(秋田県あきた未来創造部移住・定住促進課)

令和4年6月8日（水） 「秋田県合同就職面接会」

令和4年12月27日（火） 「秋田県業界研究会」

令和5年3月14日（火） 「秋田県合同就職説明会」

(秋田県産業労働部雇用労働政策課)

令和5年1月29日（日） 「秋田県合同就職支援フェア」

② 秋田県ふるさと定住機構主催事業

令和4年12月30日（金） 「あきたまるごとAターンフェア in 秋田」

令和5年2月12日（日） 「令和4年度第2回あきたまるごとAターンフェア」

③ 労働局・ハローワーク主催

令和4年11月15日（火） ハローワーク大曲「介護就職デイ」

3 福祉・介護・保育のしごとフェアの開催

第1回ふくしのしごと総合フェア in 秋田

期 日	令和4年9月3日(土)
会 場	ホテルメトロポリタン秋田
参加者	45名(一般40名、学生5名)
法人数	24法人
求人数	165名
採用数	5名
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・求人事業所との個別面談 ・適性診断・カウンセリング：あきた就職活動支援センター ・福祉の仕事相談：秋田県福祉保健人材・研修センター ・来場者特典の配布

第2回ふくしのしごと総合フェア in 秋田

期 日	令和5年3月4日(土)
会 場	ホテルメトロポリタン秋田
参加者	38名(一般32名、学生6名)
法人数	30法人
求人数	172名
採用数	1名
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・求人事業所との個別面談 ・適性診断・カウンセリング：あきた就職活動支援センター ・福祉の仕事相談：秋田県福祉保健人材・研修センター ・来場者特典の配布

4 無資格・未経験者の就労支援の実施

介護従事者新規就労支援事業

(単位：名)

区 分	申込者数	基礎講習会受講者数							訓練終了後の状況		
		訓練先決定者数	訓練先未決定	訓練辞退	継続雇用		退職				
					訓練終了	訓練中止		訓練継続	正規	非正規	
前年度までの累計	25	12	11	1	0		13	5	5	1	
前年度からの継続者	1	1	1							1	
中央 8月 第2回	2	0									
県北 9月 第2回	1	0									
中央 10月 第3回	1	0									
令和4年度計	4	0									
総 計	26	13	12	1	0		13	5	5	2	

5 介護の入門的研修事業

(1) 1日コース

①期 日 令和4年7月13日(水)

会 場 秋田県社会福祉会館

受講者 3名

②期 日 令和4年10月12日(水)

会 場 秋田県社会福祉会館

受講者 8名

(2) 5日コース

①期 日 令和4年7月13日(水)～14日(木)、20日(水)～21日(木)、27日(水)

会 場 秋田県社会福祉会館

受講者 22名

報告・交流会参加者 4名

②期 日 令和4年10月12日(水)、18日(火)～19日(水)、25日(火)～26日(水)

会 場 秋田県社会福祉会館

受講者 23名

報告・交流会参加者 3名

内 容 (共通)

講義「介護に関する基礎知識」「介護の基本」「基本的な介護の方法」

(有) チョウセイ 介護の店こもれび 管理者 佐々木誠宏 氏

講義「認知症サポーター養成講座」

八橋地域包括センター社協

認知症地域支援推進員 沼田未来夢 氏

認知症地域支援推進員 村上華恵 氏

認知症地域支援推進員 押見洋 氏

講義「認知症の理解」「介護における安全確保」

Akita Care Design Laboratory けあデザインラボ 綿貫哲 氏

講義「障害の理解」

秋田県聴覚障害者支援センター 所長 小澤久範 氏

説明「職場体験について」

秋田県社会福祉協議会 施設振興・人材・研修部職員

(3) 職場体験及び就労状況

職場体験実施者 7名

介護職場就労者 1名

6 介護福祉士等修学資金貸付事業

(1) 介護福祉士修学資金通常貸付

①平成 30 年度～令和 3 年度貸付決定件数	98 件
令和 4 年度貸付額	28,584 千円
②令和 4 年度新規貸付決定件数	7 件
令和 4 年度貸付決定総額	10,390 千円
令和 4 年度貸付額	5,240 千円
(2) 介護福祉士修学資金早期貸付（入学前に入学準備金を貸付）	
①令和 5 年度入学者新規貸付決定件数	10 件
貸付決定総額	17,640 千円
貸付額	1,800 千円（入学準備金）

7 介護福祉士実務者研修受講資金貸付事業

貸付決定件数	106 件
貸付決定総額	20,045 千円
貸付額	20,045 千円

8 離職介護人材再就職準備金貸付事業

貸付決定件数	7 件
貸付決定総額	2,800 千円
貸付額	2,800 千円

9 福祉系高校修学資金貸付事業

①過年度決定件数（継続）	2 件
令和 4 年度貸付額	300 千円
②令和 4 年度新規貸付決定件数	7 件
令和 4 年度貸付決定総額	1,890 千円
令和 4 年度貸付額	1,650 千円

10 介護分野就職支援金貸付事業

新規貸付決定分	34 件
貸付決定総額	6,272 千円
貸付額	6,164 千円
※決定後辞退	2 件（308 千円）
※過年度貸付決定者分	1 件（200 千円）

11 障害福祉分野就職支援金貸付事業

新規貸付決定分	4 件
貸付決定総額	760 千円
貸付額	760 千円

12 離職介護福祉士等届出制度の普及

介護福祉士等の資格を有する者が離職した際に、福祉人材センターに住所、氏名等の届出を行う制度について、関係機関と連携して広く周知し、届出の勧奨を行うとともに、届出した者に対して、介護に関わる最新情報の提供や研修等のサポート、求人情報の提供等の支援を行った。

令和4年度末届出者数 309名（うち令和4年度新規登録者数31名）

13 保育士修学資金貸付事業

(1) 修学資金

①過年度決定件数（継続）	101件
・令和4年度貸付額	54,788千円
②令和4年度新規貸付決定件数	93件
・令和4年度貸付決定総額	103,008千円
・令和4年度貸付額	51,096千円

(2) 入学準備金

令和4年度新規貸付決定件数	86件
・令和4年度貸付決定総額	13,878千円
・令和4年度貸付額	13,878千円

(3) 就職準備金

①過年度決定件数	95件
・令和4年度貸付額	18,850千円
②令和4年度新規貸付決定件数	91件
・令和4年度貸付決定総額	17,950千円
・令和4年度貸付額	0千円

（新規貸付決定者の中に卒業年次の者がいないため）

<事業項目2 福祉人材の定着促進と労働環境の改善支援>

1 専門アドバイザー派遣事業

社会保険労務士等の専門アドバイザーを介護保険施設等に派遣し、給与体系やキャリアパス体系の整備等の雇用管理改善について、相談・助言を行った。

〔派遣状況〕

社会保険労務士	1回
計	1回

2 理学療法士派遣事業

理学療法士を派遣し、身体的負担の少ない介護方法や腰痛予防対策の指導を行った。

〔派遣状況〕

派遣回数（回）	16回
参加事業所数（カ所）	16カ所

3 福祉・介護人材の確保・定着促進のための研修会の開催

(1) エルダー・メンター養成研修

①期 日 令和 4 年 6 月 29 日 (水)

参加者 70 名

②期 日 令和 4 年 11 月 24 日 (木)

参加者 49 名

内 容 (共通)

講義「エルダー・メンター制度が機能する社風作り」

「エルダー・メンター制度はこうすれば機能する」

ペアワーク

講師 株式会社グッドコミュニケーション

代表取締役 中田康晴 氏

(2) 福祉・介護事業所採用力アップセミナー

期 日 令和 5 年 2 月 22 日 (水)

参加者 27 名

内 容 講義・ワークショップ

「介護職の魅力の伝え方と応募の増える求人の書き方」

「求人作成について」

講 師 株式会社 マイナビ

メディカル事業本部福祉介護メディア推進部 部長 神野達郎 氏

(3) 介護助手活用促進セミナー

期 日 令和 4 年 12 月 15 日 (木)

参加者 11 名

内 容 講義「三重県における介護助手導入の取組みについて」

講 師 三重県老人保健施設協会 事務局長 小野昌宏 氏

4 秋田県福祉保健人材・研修センター運営委員会

期 日 令和 5 年 2 月 2 日 (木)

会 場 秋田県社会福祉会館

議 題 人材確保関連事業の実施状況について

研修事業の実施状況について

令和 5 年度に向けた事業実施計画案について

<事業項目 3 福祉の仕事への理解促進>

1 情報提供機能の強化

(1) 多様な広報媒体等の活用等による情報提供

福祉・介護の仕事に対する理解促進及びイメージアップを図るため、様々な機会を通じて広報活動や情報提供を実施した。

① ホームページへの求人情報や各種事業に関する情報の掲載

- ②COOL システムを活用した離職介護福祉士等届出者に対する情報発信
 - ③求職登録者への郵送による求人情報の提供
 - ④新聞（秋田魁新報ほか報道機関各社）、SNS 広告等による各種事業の周知・報道依頼
 - ⑤「福祉のお仕事」（各都道府県人材センター共有ホームページ）における検索システム構築
 - ⑥窓口相談時における情報提供
 - ⑦ハローワークプラザアトリオンにおける出張相談
 - ⑧人材センター職員の事業所訪問による情報提供
 - ⑨関係機関主催相談会等における情報提供
- (2) 秋田県介護職応援 Web サイト（秋田県介護人材確保対策事業）
- 介護分野への就労希望者や高校生・大学生等が今後の進路選択の参考とすることができるよう、介護の仕事や介護の魅力に関する情報及び求人情報等を発信した。
- ①福祉の仕事の紹介、求人情報、資格取得等の情報提供（「福祉のお仕事」へのリンクの設定）
 - ②介護の仕事に従事している施設職員からのメッセージ・動画の掲載
- (3) 関係機関、高校・大学・短大等との情報交換、事業協力関係の強化
- 関係機関からの協力を得ながら各種事業を進めたほか、関係機関が主催する事業に積極的に協力するなど協力関係の強化に努めた。
- また、県や労働局が開催する福祉人材の確保推進に向けた協議会への参画により、各機関が推進する事業に関する情報共有や連携強化に努めた。

<主な連携・参画の状況>

① 県主催事業

（秋田県健康福祉部地域・家庭福祉課）

令和 4 年 7 月 6 日（水） 第 1 回秋田県福祉人材確保推進協議会

令和 4 年 9 月 30 日（金） 第 2 回秋田県福祉人材確保推進協議会

（秋田県産業労働部雇用労働政策課）

令和 4 年 11 月 9 日（水） 秋田県外国人材の受入れ・共生に係る連絡協議会

② 介護労働安定センター主催事業

令和 4 年 12 月 2 日（金） 秋田介護労働懇談会・秋田地域介護労働懇談会

③ 労働局主催事業

令和 4 年 7 月 20 日（水） 人材確保対策連絡協議会

令和 4 年 12 月 9 日（金） 秋田県介護施設＋ Safe 協議会

2 高校生福祉の進路ガイダンス

< 県南地区 >

期 日 令和 4 年 8 月 2 日（火）

会 場 秋田県南部老人福祉総合エリア（横手市）

参加者 28 名

内 容 概要説明「ふくしのお仕事について～つなぐ、つながる。ふくしとあなた。～」
 秋田県社会福祉協議会 施設振興・人材・研修部職員
 講話「生きるを支える仕事について」
 秋田県南部老人福祉総合エリア 養護老人ホーム 施設長 大塚聡 氏
 講座「最新の福祉用具について」
 株式会社虹の街 福祉用具専門相談員 佐々木好美 氏
 オンライン進路ガイダンス（秋田看護福祉大学・日本赤十字秋田短期大学・聖
 霊女子短期大学・秋田社会福祉専門学校）

< 県央地区 >

期 日 令和 4 年 9 月 3 日（土）
 会 場 ホテルメトロポリタン秋田（秋田市）
 参加者 14 名
 内 容 概要説明「ふくしのお仕事について～つなぐ、つながる。ふくしとあなた。～」
 秋田県社会福祉協議会 施設振興・人材・研修部副部長
 介護ロボットミニ体験会
 株式会社虹の街
 進路ガイダンス・個別相談（秋田看護福祉大学・日本赤十字秋田短期大学・聖
 霊女子短期大学・秋田社会福祉専門学校）

< 県北地区 >

※最小開催人数に満たなかったため中止

3 介護の職場体験事業

(1) 体験者数 (単位：名)

中学生	21
高校生	65
学生（中学・高校生以外）	0
一般	1
合計	87

(2) 体験実施施設種別内訳 (単位：名)

特別養護老人ホーム	28
老人保健施設	4
ショートステイ	8
デイサービス	36
通所リハビリ	0
訪問介護	0
グループホーム	7
小規模多機能	2
訪問看護	0
サ高住（有料）	2
計	87

(3) ポスター・チラシの作成及び配布

①事業のPRと参加促進のためのチラシ・Instagram掲載データ作成

チラシ 6,000 部

②関係機関への配布

県・市町村教育委員会、中学校・高等学校・短期大学・大学、専門学校、介護福祉士実務者研修実施事業者、ハローワーク、公共施設等

(4) 小冊子の配布

介護の仕事と魅力を紹介する小冊子「介護の仕事ハンドブック」を 8,000 部増刷し、県内高等学校の 1 年生全員に配布するとともに、ホームページや SNS 等で広く周知するため Instagram 掲載データを作成した。

4 中学生の福祉の仕事セミナー

<大仙市立太田中学校>

期 日 令和 4 年 6 月 30 日 (木)

参加者 2 年生 46 名、教職員 5 名

内 容 講義「伝えたい介護の魅力とやりがい」

講 師 介護老人保健施設なごみのさと 入所事業部長 町田大介 氏

介護老人保健施設なごみのさと 在宅事業部長 倉田康弘 氏

<由利本荘市立鳥海中学校>

期 日 令和 4 年 7 月 14 日 (木)

参加者 1 年生 20 名、教職員 4 名

内 容 講義「生活支援員という職業～シンギュラリティに備える～」

講 師 水林新生園 生活支援員 小助川啓徳 氏

<事業項目 4 福祉保健従事者研修の充実>

1 福祉保健従事者研修 <別表 1 参照>

(1) 行政職員研修 4 コース(4 回) (うち 1 回は職域別研修と合同実施)

(2) 段階別研修 11 コース(19 回)

① 新任研修 1 コース(3 回)

② 中堅研修 1 コース(3 回)

③ 指導的従事者研修 1 コース(4 回)

④ 管理者研修 1 コース(2 回)

⑤ 職域別研修 7 コース(7 回)

(3) 特別研修 2 コース(2 回)

2 自主企画研修 <別表 2 参照>

(1) 従事者向け研修 12 コース(15 回)

3 認知症介護研修（自主企画研修）

- (1) 認知症介護研修 6 コース(11 回) 《別表 2 参照》
- (2) 認知症介護研修新カリキュラム移行検討会
令和 4 年 5 月 20 日(金) 出席者 5 名
- (3) 認知症介護研修カリキュラム検討委員会
第 1 回 令和 4 年 9 月 16 日(金) 出席者 22 名
第 2 回 令和 5 年 2 月 17 日(金) 出席者 24 名

4 介護施設等看護実務者研修事業

- 第 1 回 期 日 令和 4 年 9 月 14 日 (水)
会 場 秋田県社会福祉会館 (オンライン併用)
参加者 43 名 (会場 10 名、オンライン 33 名)
内 容 講義「介護現場で求められている看護師とは①」
講 師 社会福祉法人いずみ会 施設長 豊嶋直美 氏
- 第 2 回 期 日 令和 4 年 10 月 19 日 (水)
会 場 秋田県社会福祉会館 (オンライン併用)
参加者 45 名 (会場 10 名、オンライン 35 名)
内 容 講義「介護現場で求められている看護師とは②」
「介護現場で求められている看護師とは③」
講 師 社会福祉法人愛染会 介護老人保健施設 あいぜん苑
認知症看護認定看護師 安田智代 氏
- 第 3 回 期 日 令和 4 年 11 月 15 日 (火)
会 場 秋田県社会福祉会館 (オンライン併用)
参加者 36 名 (会場 9 名、オンライン 27 名)
内 容 講義「介護現場で求められている看護師とは④ (基礎)」
講 師 特定医療法人荘和会 障害者自立支援センター「和」
センター長 浅利和磨 氏
- 第 4 回 期 日 令和 4 年 11 月 16 日 (水)
会 場 秋田県社会福祉会館
参加者 36 名 (会場 9 名、オンライン 27 名)
内 容 講義「介護現場で求められている看護師とは④ (応用)」
講 師 特定医療法人荘和会 障害者自立支援センター「和」
センター長 浅利和磨 氏

5 訪問介護員の人材養成における基本研修事業

- 訪問介護員の人材養成における基本研修事業
第 1 回 期 日 令和 4 年 8 月 25 日 (木)

会 場 オンライン
参加者 13名
内 容 「自立支援とは」
秋田県自立支援介護予防普及アドバイザー 湊洋太氏
「訪問介護員としての職業倫理・法令遵守」
日本ホームヘルパー協会 名誉会長 因利恵氏

第2回 期 日 令和4年9月29日(木)
会 場 秋田県社会福祉会館(オンライン併用)
参加者 18名(会場6名、オンライン12名)
内 容 認知症とせん妄、物忘れなどの疾病の理解と観察・ケアのポイント
講 師 社会福祉法人愛染会 介護老人保健施設 あいぜん苑
認知症看護認定看護師 安田智代氏

第3回 期 日 令和4年10月18日(火)
会 場 秋田県社会福祉会館(オンライン併用)
参加者 20名(会場5名、オンライン15名)
内 容 「高齢者の日常における身体の管理と観察ポイント」
講 師 NPO法人ホームホスピス秋田 理事長 中村順子氏

第4回 期 日 令和4年11月1日(火)
会 場 秋田県社会福祉会館(オンライン併用)
参加者 20名(会場6名、オンライン14名)
内 容 「高齢者が内服している薬の理解」
講 師 赤玉薬局八竜店 薬剤師 戸松大輔氏

第5回 期 日 令和4年11月17日(木)
会 場 秋田県社会福祉会館(オンライン併用)
参加者 11名(会場1名、オンライン10名)
内 容 「アンガーマネジメント」
講 師 合同会社あきたこまちネット 代表社員 本田正博氏
ファシリテーター 合同会社あきたこまちネット 佐々木美香氏

第6回 期 日 令和4年12月8日(木)～9日(金)
会 場 秋田県社会福祉会館(オンライン併用)
参加者 10名(会場1名、オンライン9名)
内 容 「自立支援に必須なICFを活用したアセスメント」
講 師 秋田県自立支援介護予防普及アドバイザー 湊洋太氏
ファシリテーター 秋田県自立支援介護予防普及アドバイザー 原田大河氏

サービス提供責任者初任者研修

期 間 令和4年9月7日(水)～9日(金)
会 場 秋田県社会福祉会館(オンライン併用)
参加者 102名(会場24名、オンライン78名)

- 内 容 講義 1 「地域包括システムにおける自立支援専門職の役割」
「自立支援に必須である ICF を活用したアセスメント」
秋田県自立支援介護予防普及アドバイザー ジョーンズ佳子 氏
- 講義 2 「訪問介護サービスの基本視点と制度・政策の全体像の理解」
「訪問介護を取り巻く状況」 「職業倫理と法令遵守」
「利用者・家族、訪問介護員、他職種とのコミュニケーション」
「スーパービジョン」
日本ホームヘルパー協会 名誉会長 因利恵 氏
- 講義 3 「介護保険制度について」「訪問介護サービスのプロセス」
「自立支援に資するアセスメント」「訪問介護計画書の演習・作成」
株式会社グッドラックプロデュース ケアマネ処グット楽
主任介護支援専門員 菅原のぞみ 氏
- 講義 4 「医療に関する知識」「認知症に関する知識」「感染症対策」
「リスクマネジメント」「緊急時対応及び苦情対応」
NPO法人ホームホスピス秋田 理事長 中村順子 氏

6 介護職員等によるたんの吸引等研修事業

(1) 喀痰吸引等指導者養成

① 第一号及び第二号研修（不特定多数の者対象）

第 1 回 期 日 令和 4 年 5 月 24 日（火）～25 日（水）

会 場 秋田県中央地区老人福祉総合エリア

受講者 16 名

第 2 回 期 日 令和 4 年 7 月 27 日（水）～28 日（木）

会 場 秋田県中央地区老人福祉総合エリア

受講者 21 名

② 第三号研修（特定の者対象）

期 日 令和 4 年 6 月 3 日（金）

会 場 秋田県中央地区老人福祉総合エリア

受講者 10 名

(2) 介護職員等によるたん吸引等研修（不特定多数の者対象）の実施

① 基本研修（講義・筆記試験）

基本研修（講義）	筆記試験	講義・試験会場	実地研修
6 月 24 日（金）～ 7 月 12 日（火） （8 日間）	7 月 13 日（水） 24 名受験 23 名合格	秋田県中央地区 老人福祉総合エ リア	各実地研修施設に おいて実施 修了者 0 名
50 時間の講義＋救急蘇 生法演習 24 名受講	再試験 7 月 22 日（金） 1 名受験 1 名合格	秋田県社会福祉 会館	

②基本研修（演習）

基本研修（演習）	会場
① 9月7日(水)～8日(木) 9月14日(水)～16日(金) ② 10月4日(火)～5日(水) 10月12日(水)～14日(金) 5行為5日間の演習 24名受講、24名合格	秋田県中央地区老人福祉総合エリア

(3)介護職員等によるたんの吸引等研修（特定の者対象）の開催

①基本研修

期 日 令和4年8月30日(火)～31日(水)
 会 場 秋田県中央地区老人福祉総合エリア
 受講者 18名

②筆記試験

期 日 令和4年8月31日(水) ※再試験：令和4年9月9日(金)
 受講者 18名、合格者17名

③実地研修

実地研修協力者（利用者）の所在する場所（居宅及び施設等）で指導看護師の指導のもと、実施した。

(4)手技確認講習の実施

①一部履修免除者に対する手技確認講習の開催

受講者 63名、合格者50名（合格率79%）

開催日	受講者	合格者	不合格者
令和4年6月23日(木)	6名	6名	0名
令和4年8月24日(水)～25日(木)	11名	9名	2名
令和4年10月6日(木)～7日(金)	15名	12名	3名
令和4年11月8日(火)～9日(水)	15名	10名	5名
令和5年1月24日(火)～25日(水)	16名	13名	3名

②認定証取得済介護職員等に対するフォローアップ研修の開催

開催日	受講者
令和4年6月17日(金)	0名
令和4年9月22日(木)	4名

(5)実地研修事業の実施（不特定の者対象）

①実地研修履修者の賠償責任保険の加入管理

演習修了者の実地研修に際し、保険加入手続きを行ったほか、必要に応じ実地研修未修了者の保険再加入手続きを行った（95名）。

②実地研修施設との連絡調整等

実地研修施設として78施設と委託契約を締結し、研修施設としての体制整備や研修の具体的な進め方（評価方法等）、指導看護師との連絡調整、研修に関する相談支援を行った。

③実地研修修了者に対する修了証明書の交付（手技確認講習受講者含む）

〔交付実績〕

(単位：名)

	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	合計
一・二号	0	0	1	0	0	3	3	12	12	69 (1)	0	100 (1)

※令和4年4月1日から令和5年3月末までに交付した修了証明書発行延人数

※（ ）は第一号研修課程修了者数

(6) 実地研修事業の実施（特定の者対象）

① 実地研修履修者の賠償責任保険の加入管理

基本研修修了者の保険加入手続きを行ったほか、特定の者（受講者30名：利用者32名）の保険加入・更新手続きを行った。

② 実地研修施設との連絡調整等

実地研修施設として2施設と委託契約を締結し、研修施設としての体制整備や研修の具体的な進め方（評価方法等）、研修に関する相談支援を必要に応じて行った。

③ 実地研修修了者に対する修了証明書の交付

介護職員等によるたんの吸引等研修（特定）指導者養成修了者及び研修修了者に証明書を交付した。

（令和5年3月末現在修了証交付数）

指導者講習修了者	10名		
研修修了者	全課程	19名	31名
	実地研修のみ	12名	

(7) 研修実施委員会の設置及び委員会の開催

① 研修実施委員会の開催

- 第1回 期 日 令和4年8月5日(金)
 会 場 秋田県社会福祉会館
 内 容 令和4年度進捗状況について
 試験判定部会の継続について
- 第2回 期 日 令和5年2月7日(火)
 会 場 秋田県社会福祉会館
 内 容 令和4年度進捗状況について
 令和5年度研修計画について

② 試験判定部会の開催

- 令和4年4月15日(金)
 令和4年7月1日(金)
 令和4年9月2日(金)
 令和4年10月18日(火)
 令和4年12月6日(火)
 令和5年1月27日(金)
 令和5年3月7日(火)

7 介護支援専門員養成事業

(1) 介護支援専門員実務研修受講試験

- 期 日 令和4年10月9日(日)
 会 場 ノースアジア大学(秋田市)
 受験申込者 643名

受験者 568 名
合格者 97 名 (合格率 17.1%)

(2) 介護支援専門員実務研修

〈前期研修〉

期 日 令和 4 年 12 月 19 日 (月) ~ 20 日 (火)、22 日 (木) ~ 23 日 (金)、
令和 5 年 1 月 10 日 (火) ~ 14 日 (土)
会 場 秋田県社会福祉会館 (オンライン併用)
受 講 者 94 名

〈後期研修〉

期 日 令和 5 年 2 月 20 日 (月) ~ 22 日 (水)、3 月 7 日 (火) ~ 10 日 (金)
会 場 秋田県社会福祉会館 (オンライン併用)
受 講 者 95 名 修了者 94 名

推進項目 2 福祉サービスの質の向上と社会福祉経営基盤の強化

〈事業項目 1 質の高い福祉サービス提供の促進〉

1 運営適正化委員会事業

(1) 運営適正化委員会 (オンライン併用)

期 日 令和 4 年 4 月 12 日 (火)
内 容 正副委員長の互選及び所属小委員会について
令和 3 年度秋田県運営適正化委員会事業報告について
令和 4 年度秋田県運営適正化委員会事業計画について
出席者 委員 9 名 県担当者 2 名

(2) 運営監視小委員会 (オンライン併用)

第 1 回 期 日 令和 4 年 7 月 12 日 (火)
内 容 令和 3 年度日常生活自立支援事業の実施状況及び令和 4 年度の事業
運営について
日常生活自立支援事業の実施に関する要望について (回答)
現地調査未実施の社会福祉協議会からの日常生活自立支援事業の状
況報告について (横手市社協、湯沢市社協)
出席者 委員 6 名、県担当者 1 名、専門員 2 名
第 2 回 期 日 令和 5 年 1 月 10 日 (火)
内 容 現地調査未実施の社会福祉協議会からの日常生活自立支援事業の状
況報告について (能代市社協、三種町社協、秋田市社協)
現地調査の報告について
出席者 委員 6 名、県担当者 1 名、専門員 3 名
第 3 回 期 日 令和 5 年 3 月 14 日 (火)
内 容 現地調査未実施の社会福祉協議会からの日常生活自立支援事業の状
況報告について (八郎潟町社協、井川町社協、由利本荘市社協)

令和4年度の現地調査結果による県社協への要望について（案）
次年度の事業予定について

出席者 委員5名、県担当者1名、専門員3名

(3) 苦情解決小委員会（オンライン併用）

第1回 期 日 令和4年5月10日（火）

内 容 苦情相談（3月～4月分）の報告について

出席者 委員6名、県担当者1名

第2回 期 日 令和4年7月12日（火）

内 容 苦情相談（5月～6月分）の報告について

出席者 委員6名

第3回 期 日 令和4年9月13日（火）

内 容 苦情相談（7月～8月分）の報告について

出席者 委員6名

第4回 期 日 令和4年11月8日（火）

内 容 苦情相談（9月～10月分）の報告について

令和4年度巡回訪問（案）について

令和4年度苦情解決研修会（案）について

出席者 委員6名、県担当者1名

第5回 期 日 令和5年1月10日（火）

内 容 苦情相談（11月～12月分）の報告について

令和4年度の巡回訪問の結果報告について

令和4年度苦情解決研修会の結果報告について

出席者 委員5名

第6回 期 日 令和5年3月14日（火）

内 容 苦情相談（1月～2月分）の報告について

次年度の事業予定について

出席者 委員5名、県担当者1名

(4) 現地調査等による運営監視の実施

運営監視小委員会を年3回開催し、福祉サービス利用援助事業を実施している市町村社協6ヵ所における事業の実施状況や金銭の管理、生活支援の状況について現地調査を行い、改善を要する事項等について助言した。

また、市町村社協8ヵ所の専門員から取組状況の報告を受けた。

①運営監視小委員会：現地調査

期 日	訪 問 先	訪問委員等
令和4年6月1日（水）	仙北市社会福祉協議会 福祉生活サポートセンター	運営監視小委員会委員 1名 事務局 1名
令和4年6月6日（月）	五城目町社会福祉協議会 福祉生活サポートセンター	運営監視小委員会委員 1名 事務局 1名

令和4年6月9日(木)	男鹿市社会福祉協議会 福祉生活サポートセンター	運営監視小委員会委員 1名 事務局 1名
令和4年6月14日(火)	羽後町社会福祉協議会 福祉生活サポートセンター	運営監視小委員会委員 1名 事務局 1名
令和4年6月27日(月)	にかほ市社会福祉協議会 福祉生活サポートセンター	運営監視小委員会委員 1名 事務局 1名
令和4年7月8日(金)	潟上市社会福祉協議会 福祉生活サポートセンター	運営監視小委員会委員 1名 事務局 1名

②運営監視小委員会における専門員からの実施状況聞き取り（再掲）

対象 横手市、湯沢市、能代市、三種町、秋田市、八郎潟町、井川町、由利本荘市の社会福祉協議会

(5)巡回訪問

社会福祉事業者における苦情が適切に解決されるよう、委員が事業所を訪問して苦情解決体制の整備状況や苦情解決相談の状況について調査し、必要な助言を行った。

事業区分	施設名	訪問日
高齢者福祉施設	居宅介護支援事業所さくら	令和4年10月31日(月)
	ケアネットのしろ	令和4年11月15日(火)
	介護付高齢者優良賃貸住宅ほのか	令和4年11月18日(金)
障害者福祉施設	ダイバーシティあきた	令和4年10月13日(木)
	家々	令和4年11月24日(木)
複合施設	もりの郷	令和4年11月9日(水)
児童福祉施設	出戸こども園	令和4年11月11日(金)

(6)苦情解決研修会

事業所の苦情受付担当者及び解決責任者を対象に、事例や演習を通じ、事業所におけるクレームへの対応のスキルアップを図ることを目的として実施した。

第1回苦情解決研修会

期 日 令和4年12月6日(火)

会 場 オンライン

参加者 142名

内 容 講義・演習「クレーム対応について(初級編)」
株式会社インソース 野田泰正氏

第2回苦情解決研修会

期 日 令和5年2月28日(火)

会 場 オンライン

参加者 118名

内 容 講義・演習「クレーム対応について(上級編)」
株式会社インソース 野田泰正氏

(7)広報・啓発活動の促進

事業報告書の国会ホームページへの掲載、苦情解決に関する事業者用掲示ポスター及びパンフレットの作成と関係機関への配布、市町村広報への掲載依頼を通して、広報・啓発活動を行った。

(8) 苦情解決事業の状況

福祉サービスの利用者及び家族等からの苦情や相談を電話・来所・FAX・メール等で受け付け、助言や他機関の紹介により解決を図ったほか、必要に応じ電話による状況把握を行い解決に結びつけた。(単位：件)

受付方法	苦情	相談
来所	2	1
書面・電話等	17	21
合計	19	22
	41	

2 福祉サービス第三者評価

(1) 福祉サービス第三者評価

福祉サービスの質の向上のため、福祉サービス第三者評価機関として7施設の評価を実施した。

秋田婦人ホーム（母子生活支援施設）
グループホーム大地（共同生活援助）
こさかわいわいセンター（共同生活援助）
障害者支援施設 吉野更生園（施設入所支援）
幼保連携型認定こども園 あおぞらなないろ園（幼保連携型認定こども園）
あおぞら幼保連携型認定こども園（幼保連携型認定こども園）
聖園天使園（児童養護施設）

(2) 調査者の確保・育成

① 評価調査者指導者研修会

修了者 2名

② 秋田県福祉サービス第三者評価調査者養成研修

修了者 3名

③ 秋田県福祉サービス第三者評価調査者フォローアップ研修

修了者 10名

③ 調査者打合せ会

期 日 令和4年6月20日（月）

会 場 秋田県社会福祉会館

参加者 10名

内 容 第三者評価事業について

調査者の役割・調査の進め方について 等

3 介護サービス情報の公表事業

(1) 介護サービス事業所の調査及び介護サービス情報の公表に関する計画の策定

公表対象事業所が報告する介護サービス情報の受理・調査・情報の公表等の事務を適

正に実施するため、報告計画、調査計画及び公表計画を定めた。

・公表計画件数 1,985 件（うち報告計画件数 1,105 件 調査計画件数 880 件）

(2) 介護サービス情報の確認、受理及び調査

調査指針に基づき調査の対象となった事業所から報告された情報を確認し、受理した。

また、報告された事項について、調査員が事業所を直接訪問し、事実確認のための調査を実施した。(858 件)

(3) 介護サービス情報の公表

公表計画に沿って対象事業所の情報を受理し公表した。

・公表件数 1,980 件（うち既存事業所 1,933 件 新規開設事業所 47 件）

(4) 調査員フォローアップ研修の実施

期 日 令和 5 年 1 月 20 日（金）

会 場 秋田県社会福祉会館

参加者 15 名

内 容 講話「求められる福祉施設について」

講 師 特別養護老人ホーム高清水寿光園 施設長 須田剛 氏

(5) 介護サービス情報公表手数料の徴収

秋田県介護サービス情報指定情報公表センターとして、対象事業所からの手数料徴収事務を実施した。

<事業項目 2 福祉事業者の経営・組織強化への支援>

1 経営相談・指導と研修の実施

(1) 相談指導の実施

常勤指導員 1 名（専任 1 名）及び非常勤指導員 8 名（弁護士 2 名、公認会計士 3 名、社会保険労務士 2 名）を配置し、相談指導を実施した。

① 一般相談（月～金）

相談件数 17 件

② 専門相談（法律、会計税務、社会保険労務相談）

相談件数 29 件

ア 施設種別別の相談状況

(単位：件)

相談方法		施設種別					小計	合計
		障害施設	児童施設	老人施設	その他	法人本部		
訪問相談	常勤指導員							
	非常勤指導員							
来所相談	常勤指導員	1				1	13	
	非常勤指導員	1	4	4		3		
電話文書	常勤指導員	2	2	4	4	3	33	
	非常勤指導員	2	4	1	3	8		
小計	常勤指導員	3	2	4	4	3	46	
	非常勤指導員	3	8	5	3	11		
合 計		6	10	9	7	14	46	

イ 相談事項別の内容件数

(単位：件)

相談方法 相談内容	訪問相談		来所相談		電話文書		小計		合計
	常勤指導員	非常勤指導員	常勤指導員	非常勤指導員	常勤指導員	非常勤指導員	常勤指導員	非常勤指導員	
①施設経営一般				2	4	1	4	3	7
②会計税務					3	8	3	8	11
③入所者処遇			1	1	1		2	1	3
④職員待遇					1	1	1	1	2
⑤安全防災									
⑥衛生管理									
⑦施設整備					3		3		3
⑧人材確保対策									
⑨労使問題				6		6		12	12
⑩預り金									
⑪地域交流									
⑫その他				4	4		4	4	8
小計			1	13	16	16	17	29	46
合計		0		14		32		46	

(2) 広報活動・情報の提供

① 専門相談日・担当者に関する情報の提供

随時相談を受付けていることを必要に応じ、ホームページやメールマガジンにより情報提供した。

② 社会福祉制度に関する情報の提供

厚生労働省及び全国社会福祉法人経営者協議会、全社協関係資料を中心に、必要に応じて情報を提供した。

(3) 法人・役員等研修会の開催（経営協と共催）

① 秋田県経営協前期セミナー

期 日 令和4年7月29日（金）

会 場 秋田県社会福祉会館

参加者 43名

内 容 講義「徹底解説！経営基盤を強くする経営協メゾット」

動画「次のリーダーはココで！～全国青年会取組報告・入会PR」

説明「年に1回、法人の健康診断を！経営協ドックのご案内」

② 社会福祉法人会計実務者研修会

<入門クラス>

期 日 令和4年9月1日（木）

会 場 秋田県社会福祉会館（オンライン併用）

参加者 22名

内 容 講義「社会福祉法人からみた会計の重要性（総論）、複式簿記とは何か、社会福祉法人会計の仕訳の基本、事例問題等」

講 師 千代田トラスト総合会計グループ 公認会計士・税理士 宮腰元博 氏

<初級クラス>

期 日 令和 4 年 9 月 1 日（木）

会 場 秋田県社会福祉会館（オンライン併用）

参加者 28 名

内 容 講義「複式簿記の流れ（仕訳から決算書作成までのプロセス）、社会福祉法人会計基準に基づく会計処理の基本、仕訳と財務 3 表の作成、決算書の構造等」

講 師 千代田トラスト総合会計グループ 公認会計士 今田俊輔 氏

<中級クラス>

期 日 令和 4 年 9 月 2 日（金）

会 場 秋田県社会福祉会館（オンライン併用）

参加者 28 名

内 容 講義「会計担当者が抑えるべき社会福祉法人・施設を取り巻く状況について（総論）、基本金・積立金・引当金、資金使途、財務 3 表の会計及び正確性の確認方法、決算書の読み方、予算制度、内部統制、税務（法人税、所得税、消費税）等」

講 師 日本公認会計士協会 神奈川県会 社会福祉法人等 特別委員
公認会計士 眞鍋泰治 氏

千代田トラスト総合会計グループ 公認会計士 神谷了 氏

③ 社会福祉法人理事長セミナー

期 日 令和 4 年 10 月 3 日（月）

会 場 秋田キャッスルホテル

参加者 67 名

内 容 講演「国の動向と全国経営協の取組み、理事長の役割について」

講 師 全国社会福祉法人経営者協議会 会長 磯彰格 氏

④ 秋田県経営協後期セミナー

期 日 令和 5 年 2 月 8 日（水）

会 場 秋田県社会福祉会館

参加者 40 名

内 容 講義「コロナにも物価高にも負けない！未来に続く法人経営のヒント」
動画「入っててよかった青年会」
説明「もっと使って！経営協」

⑤ 社会福祉法人会計決算実務者研修会

期 日 令和 5 年 2 月 24 日（金）

会 場 秋田キャッスルホテル（オンライン併用）

参加者 52名

内 容 講義「社会福祉法人の会計のポイント、新制度の理解（社会福祉法人特有の会計処理、スケジュール、決算処理上の留意事項、決算書類の正しい読み方と記載時のポイント、財務分析の基礎、財務諸表の公表と信頼性の確保について、インボイス制度、改正電子帳簿保存法）」

講師 千代田トラスト統合会計グループ 公認会計士 神谷了氏

講義「社会福祉連携推進法人の経営強化策」

「中小法人に対する法定監査」

講師 日本公認会計士協会 神奈川県会 社会福祉法人等 特別委員
公認会計士 眞鍋泰治氏

2 地域における公益的な取組の促進（再掲）

(1) 秋田県地域公益活動事業の実施 参画法人数 24 法人

(2) 秋田県地域公益活動事業拠出金の配分 5 法人 10 事業へ 223 千円

(3) 地域公益活動事業拠出金管理委員会

期 日 令和 4 年 11 月 9 日（水）

会 場 秋田県社会福社会館

内 容 協議「拠出金の配分について」

(4) 秋田県地域公益活動事業推進委員会

第 1 回 期 日 令和 4 年 7 月 4 日（月）

会 場 オンライン

内 容 今年度委員の紹介

令和 3 年度事業報告

令和 4 年度事業計画

第 2 回 期 日 令和 5 年 3 月 17 日（金）

会 場 オンライン

内 容 令和 4 年度事業の進捗状況について

令和 5 年事業の進め方について

(5) 秋田県地域公益活動連絡会

期 日 令和 5 年 2 月 3 日（金）

会 場 オンライン

参加者 23 名

内 容 実践発表

「近隣法人の連携による買い物支援サービス事業」

社会福祉法人秋田県民生協会

「ひない食卓便 年末特別事業」

社会福祉法人比内ふくし会

情報提供「今後の見通しや中央・県南地域の進捗状況について」

3 種別協議会・団体への支援

各種種別協議会の運営についてサポートを行うとともに、研修会の開催等により会員事業所職員の資質向上を図った。

- (1) 秋田県社会福祉法人経営者協議会
- (2) 秋田県老人福祉施設協議会
- (3) 秋田県母子福祉協議会
- (4) 秋田県社会就労センター協議会
- (5) 秋田県民生児童委員協議会
- (6) 秋田県ホームヘルパー協議会
- (7) 秋田県ボランティア団体連絡協議会
- (8) 秋田県地域包括・在宅介護支援センター協議会
- (9) 秋田県介護支援専門員協会
- (10) 市町村社会福祉協議会連絡協議会
- (11) 秋田県知的障害者福祉協会
- (12) 秋田県知的障害児者生活サポート協会
- (13) 秋田県障害福祉団体協議会

4 緊急時の応援に係るコーディネート機能確保

(1) 登録状況（令和5年3月31日現在） （単位：名）

応援可能業務	人 数								
	大館 鹿角	北秋田	能代 山本	秋田 周辺	由利本荘 にかほ	大仙 仙北	横手	湯沢 雄勝	合計
高齢（介護）・ 障害（支援員）	2	16	0	15	0	2	10	1	46
高齢（介護）	10	33	21	108	16	58	18	10	274
障害（支援員）	7	11	22	19	9	14	1	13	96
看護	1	2	6	18	1	13	4	1	46
調理	0	3	3	5	0	2	2	3	18
その他 （事務、運転手等）	0	2	3	21	3	12	0	2	43
合 計	20	67	55	186	29	101	35	30	523

(2) 圏域別利用者受け入れ態勢（令和5年3月31日現在） （単位：カ所）

態勢	施 設 数								
	大館 鹿角	北秋田	能代 山本	秋田 周辺	由利本荘 にかほ	大仙 仙北	横手	湯沢 雄勝	合計
受け入れ可能	1	2	3	9	1	3	1	3	23
条件によっては 受け入れ可能	11	10	10	24	11	9	12	8	95
受け入れ不可能	2	14	6	34	1	19	7	2	85
合 計	14	26	19	67	13	31	20	13	203

(3)派遣実績

①派遣要請施設 秋田中央保健所管内の高齢者施設

派遣期間及び派遣人数

第1クール 令和4年6月30日(木)～7月4日(月) 介護職2名(延べ10名)

第2クール 令和4年7月5日(火)～9日(土) 介護職2名(延べ10名)

第3クール 令和4年7月10日(日)～14日(木) 介護職2名(延べ10名)

職務内容

入所者への介護業務(食事準備、食事介助、オムツ交換等)

②派遣要請施設 能代保健所管内の介護事業所

派遣期間及び派遣人数

令和4年8月5日(金)～9日(火) 介護士2名(延べ9名)

※8月6日は1名

職務内容

入所者への介護業務(食事介助、入浴介助、口腔ケア等)

③派遣要請施設 横手保健所管内の介護事業所

派遣期間及び派遣人数

令和4年8月5日(金)～10日(水) 介護職1名(延べ5名)

※8月7日(日)は休日のため派遣なし

職務内容

入所者の介護業務(食事介助、入浴介助、口腔ケア等)

④派遣要請施設 大仙保健所管内の介護事業所

派遣期間及び派遣人数

令和4年8月7日(日)～11日(木) 介護職1名(延べ5名)

職務内容

入所者の介護業務(食事介助、見守り、排泄介助等)

8時30分から17時30分

⑤派遣要請施設 横手保健所管内の介護事業所

派遣期間及び派遣人数

令和4年8月17日(水)～21日(日) 介護職1名(延べ5名)

職務内容

入所者の介護業務(食事介助、入浴介助、口腔ケア等)

⑥派遣要請施設 秋田市保健所管内の介護事業所

派遣期間及び派遣人数

令和4年9月5日(月)～9日(金) 介護職2名(延べ10名)

職務内容

入所者の介護業務(食事介助、入浴介助、口腔ケア等)

(4)その他

調整不調件数17件(派遣依頼に基づき調整を行うも不調となったもの)

施設のゾーニングが物理的に困難 2件

ゾーニングに対する利用者の行動制限が困難 2件

派遣予定事業所に陽性者が発生 2件

派遣調整中に待機職員が復帰 2件

夜勤者希望のため派遣不可 1件

利用者全員が陽性のため派遣不可 3件

派遣職員の調整ができない 4件

派遣依頼後、自法人で職員の調整ができた 1件

福祉保健従事者研修（秋田県福祉保健人材・研修センター委託研修事業）実施状況

(別表1)

区分	研修名(コース・回数)	令和4年度						令和3年度					
		実施日	日数	受講定員	申込者数	実人数	延人数	実施日	日数	受講定員	申込者数	実人数	延人数
行政	1. 新生活保護担当職員基礎研修	6/28-29	2	30	32	32	64	7/15-7/16	2	30	37	36	72
	2. 新任査察指導員基礎研修	7/12-13	2	10	7	6	12	6/28-29	2	10	9	8	16
	3. 課題別研修(福祉事務所管理職員研修)	7/27	1	15	2	2	2	7/7	1	15	6	6	6
	4. 地域福祉推進研修(職域研修と合同実施)	8/8-9	2	50	34	32	64	8/10-8/11	2	50	18	18	36
	計 4コース 4回		7	105	75	72	142		7	105	70	68	130
新任	5. 福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程												
	初任者コース(第1回)	7/14-15	2	80	51	52	104	7/20-21	2	80	48	39	78
	初任者コース(第2回)	2/9-10	2	80	65	51	102	9/15-16	2	80	52	38	76
	初任者コース(第3回)	11/29-30	2	80	38	31	62	11/29-30	2	80	44	38	76
計 1コース 3回		6	240	154	134	268		6	240	144	115	230	
中堅	6. 福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程												
	中堅職員コース(第1回)	2/14-15	2	80	51	47	94	8/23-24	2	80	48	39	78
	中堅職員コース(第2回)	10/20-21	2	80	72	72	144	10/21-22	2	80	63	48	96
	中堅職員コース(第3回)	11/21-22	2	80	53	35	70	12/1-2	2	80	40	36	72
計 1コース 3回		6	240	176	154	308		6	240	151	123	246	
指導的従事者	7. 福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程												
	チームリーダーコース(第1回)	7/21-22	2	60	50	46	92	8/16-17	2	60	30	23	46
	チームリーダーコース(第2回)	9/26-27	2	60	60	57	114	8/30-31	2	60	28	19	38
	チームリーダーコース(第3回)	10/17-18	2	60	66	64	128	11/16-17	2	60	59	49	98
	チームリーダーコース(第4回)	3/1-2	2	60	38	34	68	3/15-16	2	60	51	27	54
計 1コース 4回		8	240	214	201	402		8	240	168	118	236	
管理者	8. 福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程												
	管理職員コース(第1回)	7/25-26	2	50	31	31	62	9/21-22	2	50	33	24	48
	管理職員コース(第2回)	11/17-18	2	50	56	48	96	11/18-19	2	50	45	34	68
計 1コース 2回		4	100	87	79	158		4	100	78	58	116	
職域別	9. 研修担当職員研修	11/10-11	2	70	46	43	86	6/24-25	2	70	59	45	90
	10. 地域福祉推進研修(行政研修と合同実施) ※再掲	8/8-9	2	50	34	32	64	8/10-8/11	2	50	20	18	36
	11. 施設等相談援助職員研修	1/10-11	2	70	29	29	58	7/1-2	2	70	40	33	52
	12. 保育施設保育士研修	8/18-19	2	50	12	10	20	8/19-20	2	50	22	17	34
	13. 福祉保健施設・事業者等看護職員研修	9/13	1	70	70	58	58	11/12	1	70	48	44	44
	14. 福祉保健施設・事業者等事務職員研修	11/25	1	70	36	33	33	10/18	1	70	19	19	19
	15. 施設給食担当職員研修	10/4	1	70	57	56	56	10/5	1	70	63	58	58
計 7コース 7回		11	450	284	261	375		11	450	271	234	333	
計	16. 課題別研修I	12/7-8	2	70	75	65	130	12/7-8	2	70	78	71	142
	17. 課題別研修II(福祉実践inあきた)	1/31	1	100	35	34	34	12/9	1	100	69	64	64
	計 2コース 2回		3	170	110	99	164		3	170	147	135	206
17コース 25回			45	1,545	1,100	1,000	1,817		45	1,545	1,029	851	1,497

自主企画研修事業等実施状況

(別表2)

区分	研修名(コース・回数)	令和4年度					令和3年度				
		実施日	日数	受講定員	申込者数	受講者実人数	実施日	日数	受講定員	申込者数	受講者実人数
従事者向け研修	1. 調理技術研修 (3回)	6/21 11/1 12/1	3	90	83	79	6/22 11/5 11/26	3	90	80	70
	2. 介護記録の理解と実践 (2回)	7/5 11/2	2	160	146	140	6/11 11/4	2	160	129	117
	3. 安全・安心な介護教室基本編 休止	—	0	0	—	—	—	0	0	0	0
	4. クレーム対応研修	11/28	1	80	102	83	8/18	1	80	82	78
	5. メンタルヘルス研修	9/12	1	80	74	61	9/17	1	80	55	42
	6. 法人監事研修	11/15	1	80	37	32	11/1	1	80	48	47
	7. リスクマネジメント研修	12/9	1	80	89	80	12/10	1	80	86	88
	8. ロジカルシンキング研修 休止	—	0	0	—	—	9/28	1	80	35	24
	9. 怒りのマネジメント研修	6/16	1	80	86	84	6/16	1	80	65	52
	10. OJTリーダー研修	10/14	1	80	98	94	10/29	1	80	50	49
	11. コミュニケーション向上研修	6/15	1	80	79	75	6/15	1	80	59	47
	12. 説明力強化研修	9/15	1	80	62	53	10/4	1	80	36	34
	13. ビジネスマナー向上研修	5/26	1	80	72	69	4/27	1	80	44	41
	14. タイムマネジメント研修	7/20	1	80	75	72	7/30	1	80	44	43
		計 12コース (15回)		15	1,050	1,003	922		16	1,130	813
認知症介護研修	1. 認知症介護実践者研修 (2回)	5/30-8/2 1/17-3/24	16	160	212	151	5/25-7/28 8/25-10/27	16	160	234	141
	2. 認知症介護実践リーダー研修 (1回)	9/20-12/2	11	40	34	33	9/29-12/3	11	40	54	35
	3. 認知症対応型サービス事業管理者研修 (2回)	10/24-25 3/14-15	4	60	43	43	11/9-10 3/2-3	4	60	47	44
	4. 認知症対応型サービス事業開設者研修 (1回)	5/18	1	30	8	8	5/19	1	30	13	12
	5. 小規模多機能型サービス等計画作成担当者研修 (1回)	1/24-25	1	30	12	12	9/9-10 1/26-27	4	60	18	15
	6. 認知症介護基礎研修 (4回)	7/6 10/19 12/13 3/7	4	240	378	350	7/6 10/12 3/10	3	240	329	204
	計 6コース (11回)		37	560	687	597		36	590	695	451
	18コース (26回)		52	1,610	1,690	1,519		52	1,720	1,508	1,183

《基本方針3 組織・経営基盤の強化》

推進項目1 法人経営の基盤強化と財源の確保

＜事業項目1 会務の運営と事業評価による適正な法人運営の推進＞

1 役員会の開催

(1) 正副会長会議

回	期 日	主 な 議 題
1	令和4年5月20日（金）	・理事会への提出議案等について
2	令和4年8月31日（水） ※オンライン	・理事会への提出議案等について ・秋田県社会福祉大会について ・秋田県社会福祉協議会会長表彰について
3	令和4年11月28日（月） ※オンライン併用	・理事会への提出議案について ・上期予算執行状況について ・県補助金及び受託金の要望状況について
4	令和5年3月3日（金） ※オンライン併用	・理事会への提出議案等について

(2) 理事会

回	期 日	主 な 議 題
1	令和4年5月30日（月） ※オンライン併用	・令和3年度事業報告（案）について ・令和3年度一般会計収支決算（案）及び令和3年度生活福祉資金会計収支決算（案）について ・評議員選任・解任委員の選任について ・理事の選任の提案について ・評議員候補者の選任に係る同意について ・令和4年度第1回評議員会（定時評議員会）の招集について
2	令和4年9月7日（水） ※オンライン併用	・令和4年度一般会計補正予算（案）及び令和4年度生活福祉資金会計補正予算（案）について ・令和4年度第2回評議員会の招集について
3	令和4年12月2日（金） 【開催中止】	・職員給与規程の一部改正について ・継続雇用職員の就業等に関する規程の一部改正について
4	令和5年3月13日（月） ※オンライン併用	・職員給与規程の一部改正について ・継続雇用職員の就業等に関する規程の一部改正について ・経理規程の一部改正について ・衛生委員会規程の制定について

		<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度一般会計第2次補正予算（案）及び令和4年度生活福祉資金会計第2次補正予算（案）について ・令和5年度事業計画（案）について ・令和5年度一般会計予算（案）及び令和5年度生活福祉資金会計予算（案）について ・理事の選任の提案について ・評議員候補者の選任に係る同意について ・役員等賠償責任保険契約の締結について ・令和4年度第3回評議員会の招集について
--	--	--

(3) 監事会

回	期 日	主 な 議 題
1	令和4年5月17日（火）	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度事業報告（案）について ・令和3年度一般会計収支決算（案）及び令和3年度生活福祉資金会計収支決算（案）について
2	令和4年11月28日（月）	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度上期事業実施状況について ・令和4年度一般会計及び生活福祉資金会計上期決算について

(4) 評議員選任・解任委員会

回	期 日	主 な 議 題
1	令和4年6月2日（木） ※決議があったとみなされた日	・評議員の選任について（書面による決議の省略）
2	令和5年3月16日（木） ※決議があったとみなされた日	・評議員の選任について（書面による決議の省略）

2 評議員会の開催

回	期 日	主 な 議 題
1	令和4年6月17日（金）	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度事業報告（案）について ・令和3年度一般会計収支決算（案）及び令和3年度生活福祉資金会計収支決算（案）について ・理事の選任について
2	令和4年9月16日（金） ※オンライン併用	・令和4年度一般会計補正予算（案）及び令和4年度生活福祉資金会計補正予算（案）について
3	令和5年3月22日（水） ※オンライン併用	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度一般会計第2次補正予算（案）及び令和4年度生活福祉資金会計第2次補正予算（案）について ・令和5年度事業計画（案）について ・令和5年度一般会計予算（案）及び令和5年度生活福祉資金会計予算（案）について ・理事の選任について

3 事業評価の推進

事業(業務)管理シートを基に重点事業の到達目標や達成度等を組織全体で確認・共有し、事業内容及び予算を精査して効果的な事業推進を図った。

<事業項目2 会員の拡大と自主財源の充実>

1 会員制度の周知と会員拡大、会員サービスの充実

(1) 会員制度の周知と会員拡大

本会ホームページに入会手続きに関する案内を掲載し、新規開設施設に対し情報を提供するとともに、過去に発注・契約の実績のある企業に対しては賛助会員としての加入を働きかけた。その結果、新たに会員となった事業所・企業は12カ所であった。

〈令和4年度新規加入施設〉

一般会員12カ所(老人福祉施設、障がい者支援事業所等)

2 自主財源の充実

(1) 自主企画研修の実施(再掲)

(2) 図書販売斡旋

(単位:冊)

	全社協出版部				その他出版社	合計
	書籍	手帳	その他	小計		
販売冊数	570	3,535	0	4,105	0	4,105

(3) 秋田県火災共済契約事業の促進 (単位:件)

	契約件数(継続含む)
火災共済	376
自動車共済	911

(4) 自動車リース化の促進 (単位:台)

	契約台数(継続含む)
社会福祉協議会	75
社会福祉施設等	154

(5) 家庭用常備薬の斡旋 (単位:円)

	金額
手数料収入	250,815

(6) 事務経費の節減

職員のコスト意識を徹底し、事務機器の再リース契約により費用の圧縮を図ったほか、節電、コピーパフォーマンスチャージの削減に努めた。

<事業項目3 秋田県社会福祉会館の適正な運営>

1 秋田県社会福祉会館の適正な運営及び利用者の拡大

(1) 社会福祉会館及び心身障害者総合福祉センターの利用促進

① 利用者の開拓

企業・団体等への訪問開拓、グーグルストリートビューの活用などにより利用者の開拓・利用促進に努めた。

企業・団体等への訪問開拓件数 928 企業・団体
 ダイレクトメールによる PR 件数 55 カ所

②自主事業の実施

ア 会館フェスティバル

新型コロナウイルス感染防止のため規模を縮小して開催した。

イ 知的障害者・精神障害者施設生産物等の出店販売

エントランスホール等で定期移動販売の場所及び機会の提供の調整を行った。
 年 63 回実施 261 名の施設利用者・職員が参加

ウ 特別支援学校生徒等の作品展示

令和 5 年 1 月 13 日(金)～ 2 月 26 日(日)
 県立きらり支援学校他特別支援学校等 3 施設、福社会館近隣保育所 2 施設

エ 秋田県障害者福祉展入賞作品展示

令和 5 年 3 月 3 日(金)～ 3 月 17 日(金)
 身体障害者、知的障害者、精神障害者 3 個人の作品展示

オ スポーツ教室等

太極拳	参加者	延べ 348 名
ヨガ&ピラティス	参加者	延べ 200 名

③社会福社会館・心身障害者総合福祉センターの利用状況

ア 会議室・展示ホール利用状況	利用件数	2,694 件
	利用人数	53,080 人
イ 心身障害者総合福祉センター利用状況	利用件数	1,208 件
	利用人数	10,438 人
ウ 自主事業等その他の利用状況 (太極拳・ヨガピラティス等)	利用件数	566 件
	利用人数	4,771 人
エ 開館時からの総計	利用件数	131,217 件
	利用人数	3,151,715 人

(2)利用者に対するサービスの充実

①利用者満足度の把握

ア 御意見箱の設置

窓口での対応の他に、館内 4 カ所に「御意見箱」を設置し、利用者の苦情・要望・意見などを把握した。また、入居団体・障害者団体からの要望の把握も行った。

イ 利用満足度調査の実施

令和 4 年 5 月から 10 月までに窓口で会議室利用 100 団体にアンケート調査を実施し、窓口対応、設備、清掃状況等について 5 段階で回答をいただいた結果、満足度(県指定算出方法)が 80.8%となった。

②Wi-Fi 設備の設置等

新型コロナウイルス感染症対策の一環でオンライン会議等用のインターネット環境を整備し、本館有料会議室、研修室のほか、展示ホール、心身障害者総合福祉センター

会議室も Wi-Fi 利用を可能としており、利用者から好評を得ている。また、必要に応じてノートパソコン、Web カメラ及びハンディタイプ体温計の貸出を行っている。

このほか、各貸会議室・体育館・ボランティアルーム等の午前・午後・夜間の予約状況について、利用者がホームページ上で 6 か月先まで把握できるよう随時情報を更新し、利便性の向上を図っている。

③社会福社会館老朽化への対応

ア 令和 4 年度大規模修繕工事の実施状況（県発注）

心身障害者総合福祉センターエレベーター交換工事

令和 4 年 6 月 17 日（金）～令和 5 年 1 月 17 日（火）

イ 老朽化の状況の定期的な把握と要望

内 容 令和 5 年度県有建築物修繕工事の予算要求資料を提出

14 件 191, 958, 000 円相当

提出先 秋田地域振興局建設部建築課

期 日 令和 4 年 8 月 8 日（月）

ウ 社会福社会館設備等の小破修繕の実施

32 件 2, 872, 628 円

④利用者ニーズに応える機材の貸出

ア PC プロジェクター（利用回数年 134 回）

イ 100 インチスクリーン（利用回数年 206 回）

ウ リモート会議用機材 PC（利用回数年 753 回）

(3) 社会福社会館の管理・運営

①入居団体総務担当者会議

第 1 回 期 日 令和 4 年 6 月 22 日（水）

参加者 37 名

内 容 入居団体への協力依頼について

大規模修繕進捗状況とそれに伴う心身障害者総合福祉センター利用について

コロナ対策関連について

会館 PR フェスティバルについて

第 2 回 期 日 令和 4 年 10 月 19 日（水）

参加者 26 名

内 容 入居団体への協力依頼事項について

コロナ対策関連について

大規模修繕進捗状況（心身障害者総合福祉センターエレベーター交換工事）について

省エネ対策について

②会館管理運営協議会

期 日 令和 5 年 3 月 16 日（木）

内 容 令和4年度会館管理運営事業報告について
令和4年度会館管理運営事業決算見込について
利用料収入・利用件数等について
光熱水費の支出状況について
修繕費の支出状況について
令和5年度の大規模修繕要望について

③防災消防総合訓練の実施・防災講話会

第1回 期 日 令和4年11月8日（火）

参加者 入居団体96名

内 容 通報・避難訓練

第2回 期 日 令和5年2月10日（金）

参加者 入居団体20名

内 容 防災講話会

(4)その他

新型コロナウイルス感染症等の予防対策として、エントランスホール3か所に非接触検温器及び非接触型手指消毒液、各出入口と有料会議室に足踏み式アルコール手指消毒液を設置した。

推進項目2 職員の資質向上と意識改革

<事業項目1 職員評価の推進>

1 業務目標評価及び能力評価の実施

各シートを使い自己評価や管理職による評価を行うとともに、ヒアリングを通し職員の業務遂行能力の向上を図った。

<事業項目2 職員の資質向上>

1 研修や人事交流による職員の資質向上

(1)職員研修の実施

①内部研修

新任研修

期 日 令和4年4月11日（月）

参加者 7名（新任職員及び受講希望者）

内 容 県社協職員として必要な基本的な心構え及び基礎的知識
社会福祉の歴史と県社協の役割、使命
県社協組織及び各部の事業等

②その他

職種や経験年数等に基づき研修センター主催の各研修に参加した（1名）。

(2)他団体への職員派遣

組織の活性化と職員の資質向上を目的に、職員を派遣した（2団体2名）。

2 資格取得の支援

専門性の確保のため、職員の資格取得に向けた支援を行った（社会福祉主事任用資格取得者1名）。

《その他》 災害時における被災地社協への支援

〔令和4年8月3日からの大雨に伴う災害支援実施状況〕

令和4年8月3日からの大雨によって、県内では住家の床上・床下浸水が合わせて453棟（8月26日秋田県災害対策本部発表）となった。特に被害の大きかった大館市・五城目町・鹿角市で順に災害ボランティアセンターが開設された状況を踏まえ、県からの要請に基づき、本会では8月5日から9月5日までの間、災害ボランティア支援センターを開設して被災地支援を行った。広域支援の必要性があった五城目町には、県内市町村社協からの応援職員の派遣調整を行い、災害ボランティアセンターの運営を支援した。

◎五城目町災害ボランティアセンターへの支援職員の派遣人数

項目	立上支援 8/15～17	第1クール 8/18～21	第2クール 8/21～24	第3クール 8/24～27	第4クール 8/27～28	合計
県社協	8	9	6	6	4	33
市町村社協	0	29 (5)	24 (6)	24 (6)	14 (6)	91

※立上支援及び各クールの数字はいずれもその期間の支援職員の延べ人数

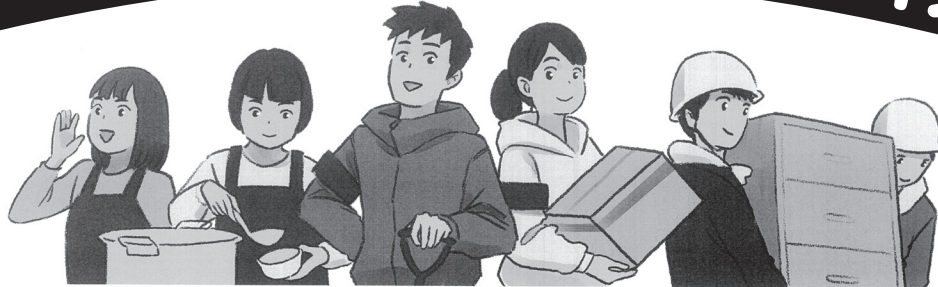
※「市町村社協」の（ ）内の数字は各クールで支援職員を派遣した市町村社協数

※市町村社協からの支援職員の実数は13市町村社協から27名

※支援職員の業務は8月28日で終了

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償

ボランティア活動保険



保険金額・年間保険料（1名あたり） 団体割引20%適用済／過去の損害率による割増適用

保険金の種類		プラン			
		基本プラン	天災・地震補償プラン	特定感染症重点プラン	
ケガの補償	死亡保険金		1,040万円		
	後遺障害保険金		1,040万円(限度額)		
	入院保険金日額		6,500円		
	手術保険金	入院中の手術		65,000円	
		外来の手術		32,500円	
	通院保険金日額		4,000円		
	特定感染症	補償開始日から10日以内は補償対象外(*)		初日から補償	
地震・噴火・津波による死傷	×	○	○		
賠償責任の補償	賠償責任保険金 (対人・対物共通)		5億円(限度額)		
年間保険料		350円	500円	550円	

商品パンフレットは
こちらから



(ふくしの保険
ホームページ)

*3月末までに契約手続きが完了し、前年度から継続して契約される場合は初日から補償します。

<重要>

- ◆ 基本プランでは地震・噴火・津波に起因する死傷は補償されません。
- ◆ 特定感染症重点プランでは中途加入の場合でも補償開始日より特定感染症が補償対象となります。
- ◆ 年度途中でご加入される場合も上記の保険料となります。
- ◆ 中途脱退による保険料の返金はありません。
- ◆ 途中でボランティアの入替や、ご加入プランの変更はできません。
- ◆ ご加入は、お1人につきいずれかのプラン1口のみとなります。

ボランティア行事用保険 (傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

送迎サービス補償 (傷害保険)

福祉サービス総合補償
(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

● このご案内は概要を説明したものです。詳細は、「ボランティア活動保険パンフレット」にてご確認ください。●

団体契約者 **社会福祉法人 全国社会福祉協議会**

取扱代理店 **株式会社 福祉保険サービス**

〈引受幹事 保険会社〉 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課

TEL: 03 (3349) 5137

受付時間: 平日の9:00~17:00 (土日・祝日、年末年始を除きます。)

この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F

TEL: 03 (3581) 4667

受付時間: 平日の9:30~17:30 (土日・祝日、年末年始を除きます。)